

平成29年4月
「はこだてグリーンプラザ」整備基本計画

目 次

はじめに	1
1. はこだてグリーンプラザを取り巻く環境	
1-1 函館駅前・大門地区の現状	
1-1-1 歩行者通行量	2
1-1-2 空き地・空き店舗	3
1-1-3 観光入込客数	4
1-1-4 電車乗降客数	4
1-1-5 函館駅前・大門地区の現状のまとめ	5
1-2 はこだてグリーンプラザの現況	
1-2-1 対象とする区域	6
1-2-2 これまでのグリーンプラザの整備経過	7
1-2-3 施設の現況	8
1-2-4 イベント等の実施状況	20
1-3 各種計画との関係	22
2. はこだてグリーンプラザの課題	
2-1 市民および地域ニーズの把握	
2-1-1 市民アンケートの実施	24
2-1-2 イベント主催者・町会ヒアリングの実施	26
2-1-3 学生ワーキングの開催	26
2-1-4 市民説明会の開催	27
2-1-5 調査結果の考察	28
2-2 果たすべき機能と整備の基本的視点	29
3. 基本コンセプトおよび基本方針の設定	
3-1 基本コンセプトの設定	32
3-2 基本方針の設定	32
4. 整備計画	
4-1 はこだてグリーンプラザの魅力の演出	34
4-2 3つのブロックの整備テーマの設定	35
4-3 3ブロック全体の共通デザイン	39
4-4 機能配置計画（ゾーニングおよび機能配置の設定）	
4-4-1 Aブロック 花とみどりと森	48
4-4-2 Bブロック 催しの舞台	55
4-4-3 Cブロック 暮らしと遊びのプラザ	63

4-5 施設計画	71
4-6 模型写真およびイメージパース	75
5. 管理運営計画	
5-1 管理運営の考え方と区分	80
5-2 「はこだてグリーンプラザ」の管理運営	80
5-3 維持管理費の想定	81
6. 概算工事費の算出および整備スケジュール	
6-1 概算事業費	82
6-2 整備スケジュール	84
7. 今後に向けて	
7-1 今後の課題	
7-1-1 基本・実施設計に関する事	85
7-1-2 整備後の管理運営に関する事	86

はじめに

「はこだてグリーンプラザ」は、昭和9年の大火後に、函館復興都市区画整理事業によって防火帯として整備された、都市計画道路3・2・14広小路の一部区間にあり、この整備当初の広小路には、多くの屋台の店が並び、露店街として賑わい、「大門広小路」の愛称で市民に親しまれていました。

その後、社会・経済の状況の変化から都市化が進む一方で、「大門広小路」は、景観や交通の問題が生じることとなっていたこともあり、商業的機能のみならず、市民が安心して憩い楽しむことができるコミュニケーションの場の形成を目指し、商店街をはじめとする地域の協力を得ながら、昭和46年度から昭和47年度にわたって買物公園として社会実験を行い、昭和48年度には、「大門広小路」から新しく「はこだてグリーンプラザ」として整備をしたものです。

平成に入り整備後20年を経過した「はこだてグリーンプラザ」は、この間十分にその機能を果たしてきたところですが、施設の老朽化や樹木の大木化などにより、暗く閉鎖的な印象となったことや、イベントを行える十分なオープンスペースがないため、地域の商店街による集客イベントが開催できないなどの理由から利用率が低下してきたことなどから、平成13年度から平成15年度にかけて、地域の拠点となり商業的利用に対応できる広場空間の整備、また、新しい都心の留まり、憩いの空間づくりを目指し、「はこだてグリーンプラザ」の再整備を行っています。

一方、函館駅前・大門地区は、かつては百貨店をはじめ、専門店や商店、飲食店などの人が集まる施設が建ち並んでいたほか、周辺には多くの人々が住んでおり、まちの賑わいを創り出していました。モータリゼーションの進展とともに、高い集客力を持つ大型商業施設が郊外部に立地したことなどにより、人の流れが都心部から郊外へと変化し、店舗数や売り上げが減少するなどの状況を引き起こしてきました。

こうした中、北海道新幹線の開業を控え、中心市街地における交流機能の強化や観光・商業の魅力向上、安全・快適な生活空間の創出により、交流人口の拡大を図っていくことが求められることとなり、平成25年3月に「函館市中心市街地活性化基本計画」を策定し、各種施策の推進により、多くの都市生活者にとって暮らしやすいまちを目指して、人の流れを郊外から中心市街地に引き戻すとともに、街なか居住を促してきたところであり、「はこだてグリーンプラザ」の整備も核事業の1つとして計画に位置付けたものです。

「はこだてグリーンプラザ」の再整備完了から13年が経過した今、函館駅前・大門地区には、再開発ビル「キラリス函館」が竣工し、市の施設となる「はこだてみらい館」と「はこだてキッズプラザ」がオープンしており、まちの活気と賑わいを取り戻しつつある中、「はこだてグリーンプラザ」については、市民そして観光客も訪れる花の咲き誇る美しい身近なオープンガーデンとして、駅前通との連続性を考慮した美しい空間演出やイベント機能を備えることにより、家族や友人、あるいは一人でゆったりとくつろげる潤いある空間を創出し、また、函館の新しいシンボルとして、様々な人が行き交うまたは集う賑わいある都市空間として整備するため、整備基本計画を取りまとめることとしました。

1. はこだてグリーンプラザを取り巻く環境

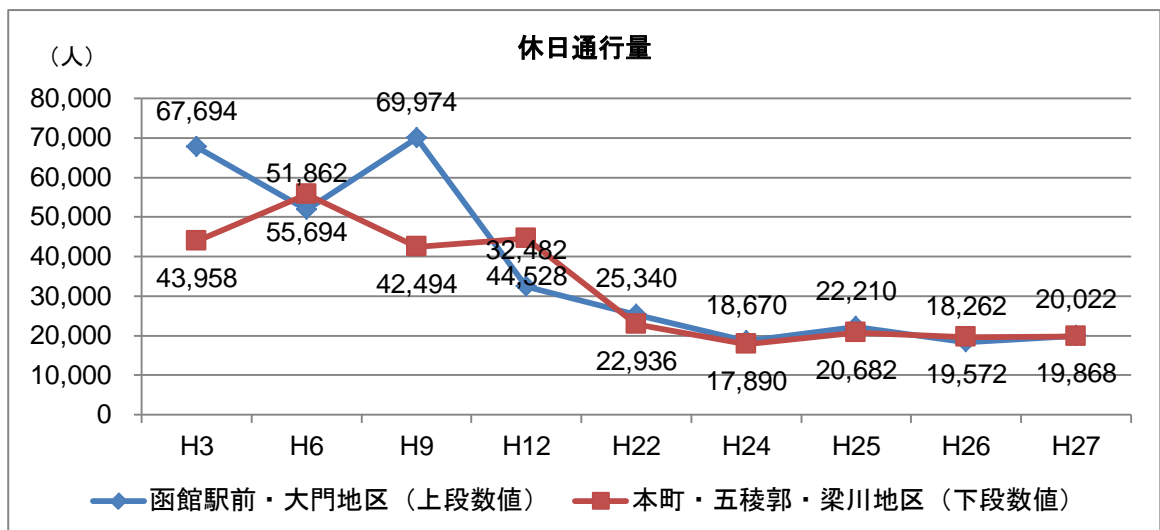
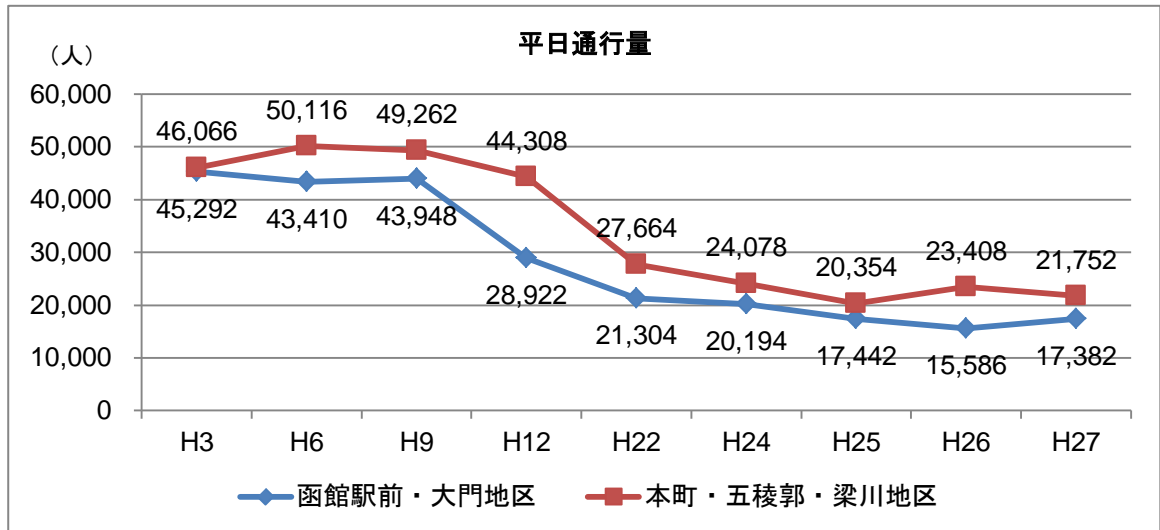
1-1 函館駅前・大門地区の現状

はこだてグリーンプラザは、本市の中心市街地として設定している函館駅前・大門地区のほぼ中央に位置しています。

1-1-1 歩行者通行量

函館駅前・大門地区および本町・五稜郭・梁川地区の歩行者通行量^{※1}は、平成12年以降、平日、休日ともに大きく減少してきていますが、平成25年からの3年間は、ほぼ横ばいの状況であり、函館駅前・大門地区では、平成26年と比べて平成27年には若干回復している状況になっています。

※1 函館駅前・大門地区および本町・五稜郭・梁川地区の各8調査地点、各年7月の休日と平日で実施。

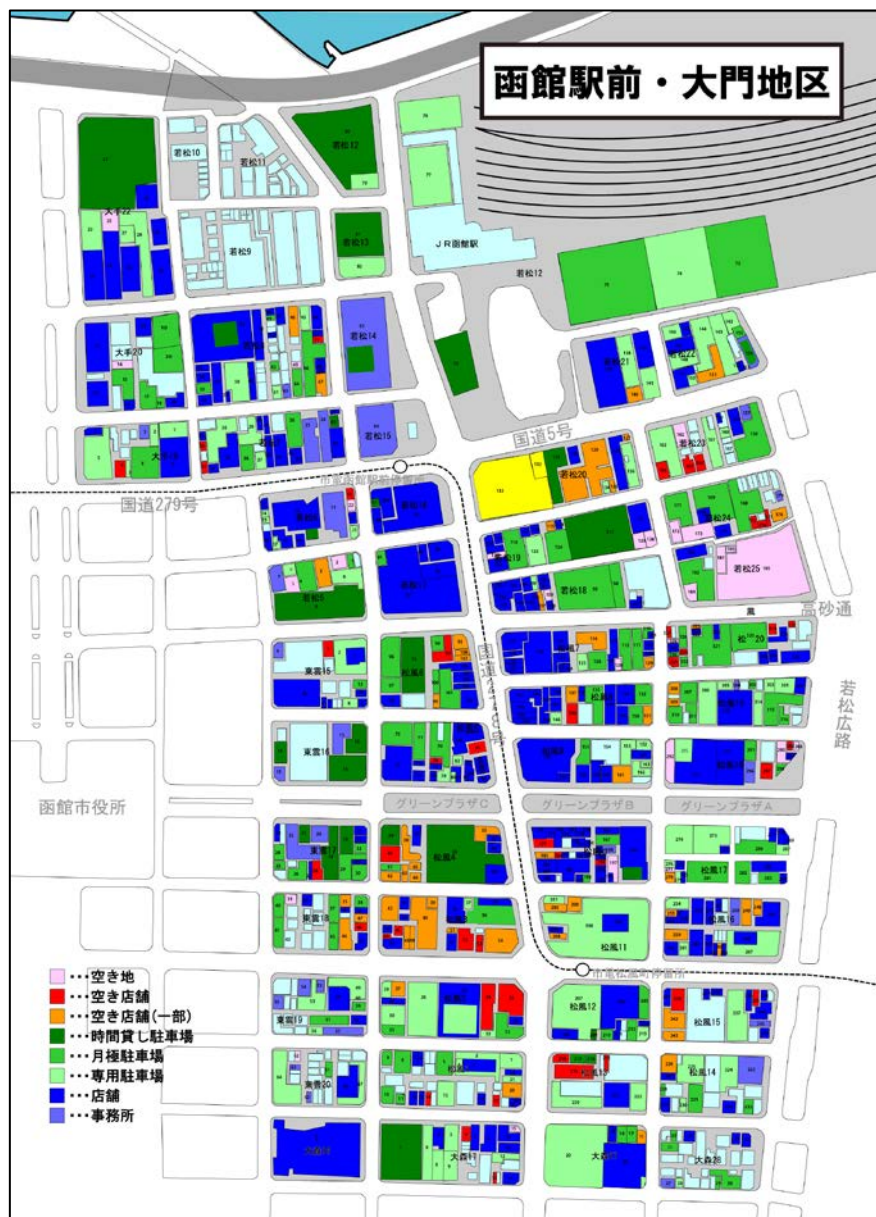


1-1-2 空き地・空き店舗

空き地については、平成27年度は7,220㎡で平成26年度の結果8,726㎡と比較すると1,506㎡の減となっており、主な要因としては、大森町に大型衣料品店（専用駐車場含む）がオープンしたことによるものと推察されます。

なお、はこだてグリーンプラザ沿いについては、平成24年頃から新たな店舗が出店するなどの動きがある一方、月極などの駐車場が大区画で存在する状況となっています。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27
空き地	27件	25件	25件	24件	25件	27件
	10,247㎡	8,970㎡	8,746㎡	7,242㎡	8,726㎡	7,220㎡
空き店舗	205件	229件	220件	255件	260件	243件



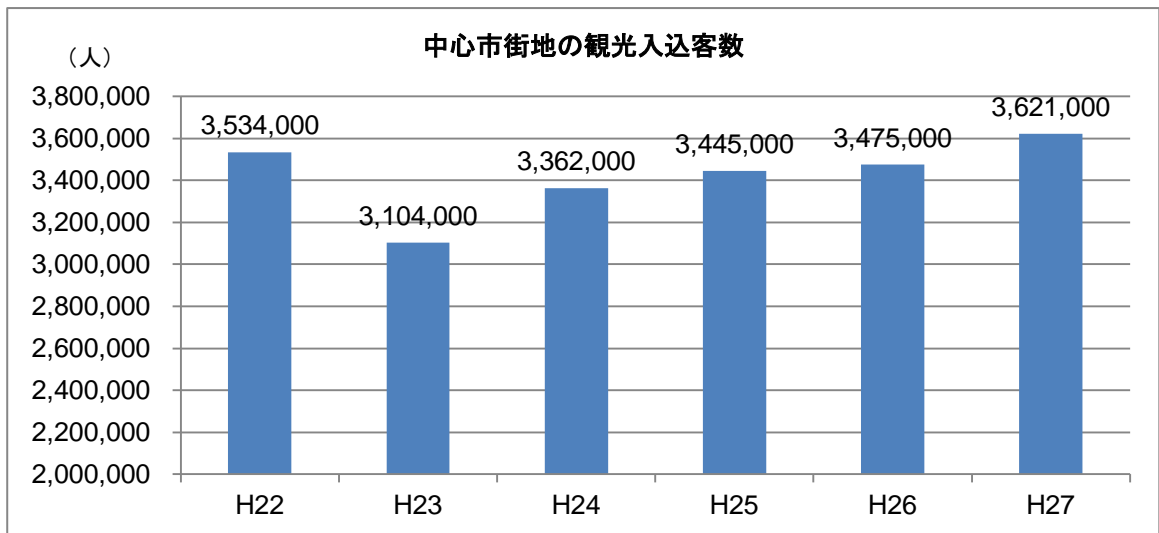
出典：函館市資料・H27年空き地・空き店舗等現況調査

1-1-3 観光入込客数

観光入込客数^{※2}については、平成22年度の3,534,000人と比較して、平成27年度は87,000人の増加となっており、東日本大震災が発生した平成23年度の3,104,000人からは順調に増加傾向にあります。

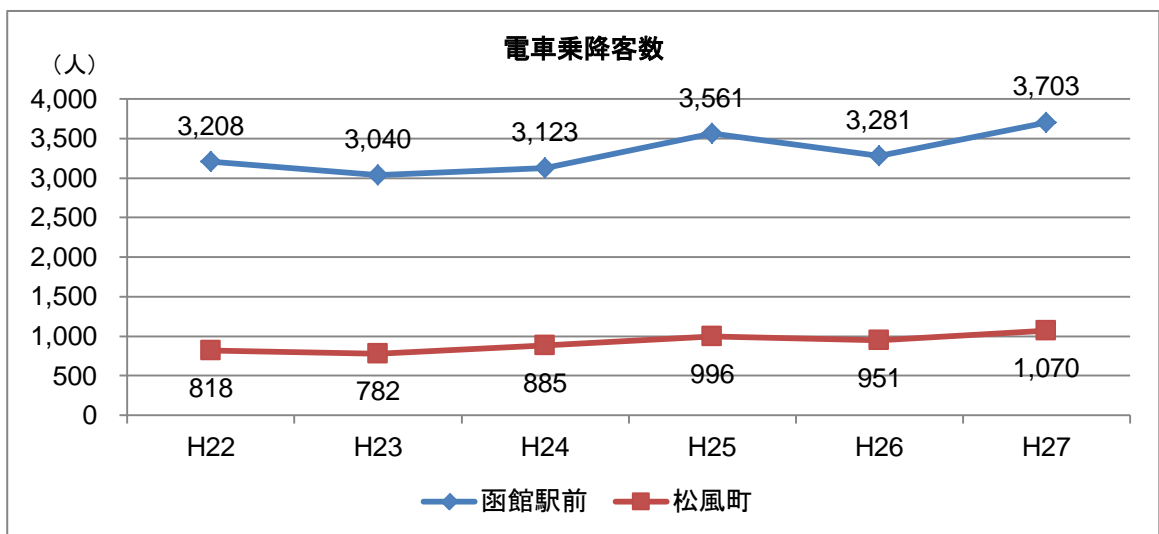
函館駅前・大門地区では、「渡島ドーム（函館朝市「朝市ひろば」）」などの民間事業の完了のほか、平成28年10月には、再開発ビル「キラリス函館」内に「はこだてキッズプラザ」や「はこだてみらい館」が開業しており、また、はこだてグリーンプラザの整備が進むことにより、今後の増加が期待されます。

※2 函館市全体の観光入込客数から、毎年函館市が実施している観光アンケートの回答項目のうち、「朝市・自由市場」および「五稜郭」を訪れる割合により「中心市街地の年間観光入込客数」を算出。



1-1-4 電車乗降客数

函館駅前および松風町の電車乗降客数は、着実に増加の傾向となっており、平成27年の乗降客数は、平成22年以降最多となる乗降客数となっています。



1-1-5 函館駅前・大門地区の現状のまとめ

函館駅前・大門地区については、歩行者の通行量など量的な指標において、中心市街地活性化基本計画策定前の平成22年、またはそれ以前と比較すると、大幅に減少（空き地空き店舗については増加）してきていますが、中心市街地活性化基本計画の推進などにより、平成27年に若干ではありますが改善がみられています。

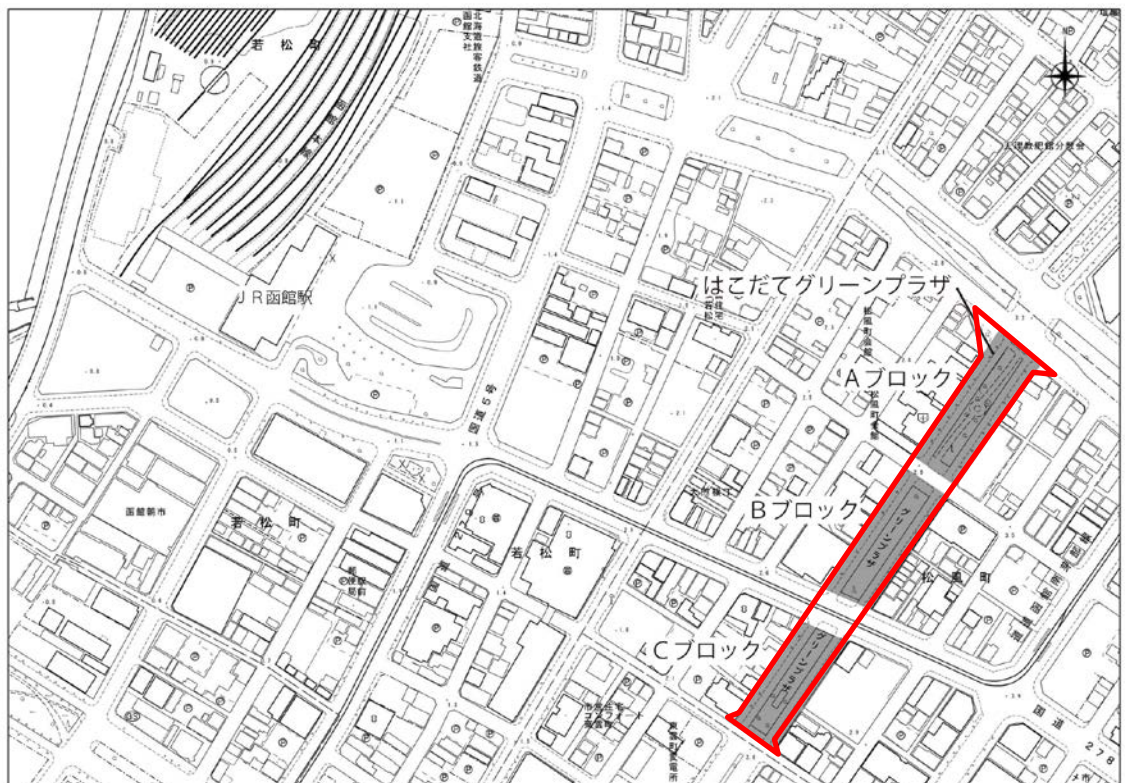
平成28年3月に北海道新幹線が開業したことから、今後も観光客の増加が見込まれるとともに、再開発ビルに「はこだてみらい館」や「はこだてキッズプラザ」などの公共施設がオープンしたこと、さらには、市電の函館駅前電停の乗降客数の増加などから、函館駅前・大門地区への市民ならびに観光客の来街者が増加していくことが予測できます。

今後、はこだてグリーンプラザの整備を進めることにより、公共施設や商業施設を目的とした来街者に加え、函館駅前・大門地区に憩いの場を求める市民や、デザイン性のある函館ならではの魅力ある空間を求めて訪れる観光客などがこの地区を回遊し、楽しむエリアとしての賑わいが期待できるものと考えます。

1-2 はこだてグリーンプラザの現況

1-2-1 対象とする区域

本整備基本計画の対象区域は、以下の区域とします。



1-2-2 これまでのグリーンプラザの整備経過

はこだてグリーンプラザは、市民が憩い楽しめる広場として、昭和48年に設置され、広場のほか固定ステージやゲート、噴水等を含む構成となっていました。

その後、30年の経過により施設の著しい老朽化に加え、イベント等の利活用の展開に適さない面が多くみられてきたことから、商業的利用にも対応できる広場空間として、平成13年度から15年度にかけて再整備し、現在に至っています。

再整備では、広場の連続性を阻害する要因となることなどから、整備前まで設置されていた常設のステージを設置しませんでした。ここ数年市民のイベントの場として活用が増加したことにより、イベント毎に設置するステージの設置費用が、イベント主催者にとって大きな負担となっているケースも散見され、この負担を軽減できないかといった相談も寄せられています。また、噴水の設置については、事業費の平準化を図るため、事業費を削減し、施設名称を意識した緑をメインとする整備をイメージし、シンボルツリーを配した花壇に変更して整備しています。



□再整備前のグリーンプラザ
(Aブロック・北側を望む)



□再整備前のグリーンプラザ
(Bブロック・北側を望む)



□再整備前のグリーンプラザ
(Cブロック・南側を望む)



□現在のグリーンプラザ
(Aブロック・シンボルツリー)



□現在のグリーンプラザ
(Bブロック・ステージはない)

1-2-3 施設の現況

はこだてグリーンプラザは、函館駅前・大門地区に位置した、市道広小路の全長1,090mのうち約350mの区間で、市街地環境の向上、景観形成、防災等の機能を備えた貴重なオープンスペースとして市民に親しまれてきました。

施設の現況と概要は、以下に示すとおりです。

〈はこだてグリーンプラザの施設概要〉

区分	施設概要等
所在地	函館市松風町2番23, 10番62, 16番8
施設規模	Aブロック：延長124.0m, 幅員14.5m Bブロック：延長108.0m, 幅員14.5m Cブロック：延長100.0m, 幅員14.5m
付帯施設	Aブロック イベント電源, モニュメント, ベンチ, 遊具, 水飲み台, シンボルツリー(ウラジロモミ), シンボルツリー照明, 街路灯, 散水栓, 分離帯分電盤 Bブロック イベント盤, イベント電源, パブリックアート, ベンチ, ボラード, ボラードチェーン, 花壇, シンボルツリー(イチイ, ヤマモミジ), シンボルツリー照明, ハイブリッド時計塔, 散水栓, 分電盤(分離帯, 時計塔) Cブロック トイレ(多目的, 男子, 女子), 物品庫, イベント盤, パブリックアート, ベンチ, ボラード, ボラードチェーン, 花壇, シンボルツリー(ケヤキ), シンボルツリー照明, 観光案内板, 市民憲章碑, 各種メーター(水道, 電気ほか), ガス圧力計, 街路灯, 散水栓
道路	市道広小路 車道5.25m, 歩道5.5m(うち植樹柵1.5m), 街路灯(散水栓付属)

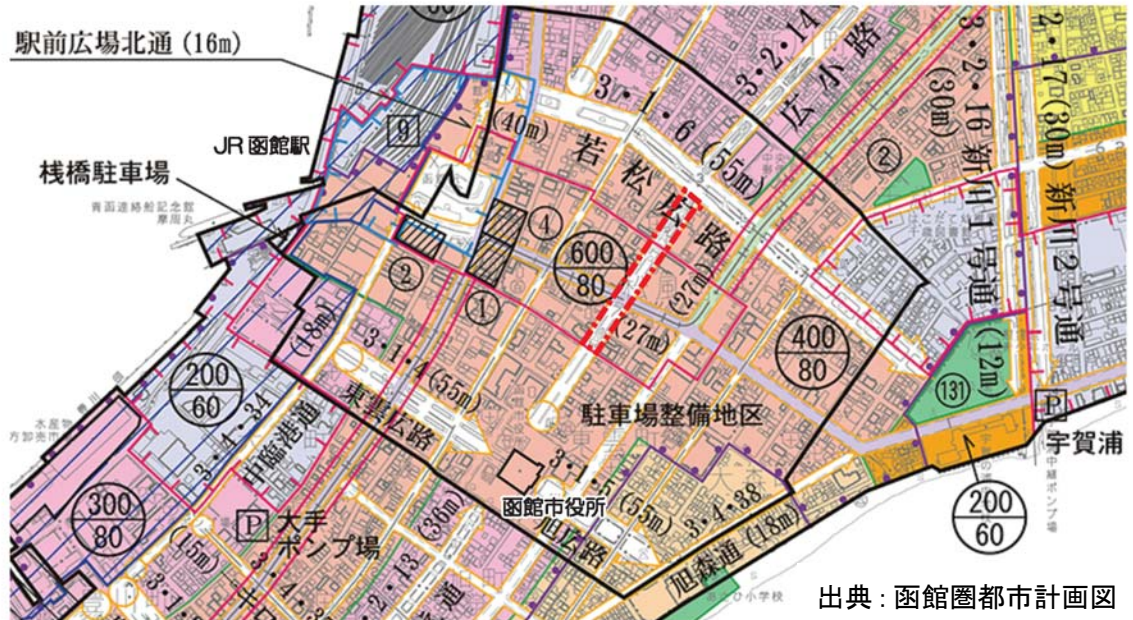
(1) 地形および地質

はこだてグリーンプラザは、函館山の裾野から北へ扇状に広がる砂州の南部に位置し、海拔3m程度のほぼ平坦な地形となっており、地質は海成の均質な細粒～中粒砂となっています。

なお、平成28年3月に作成された津波ハザードマップでは、津波浸水予測範囲に含まれており、最大浸水深が3.0m～4.0mとなっています。

(2) 都市計画

はこだてグリーンプラザの都市計画は、都市計画区域の区域区分のうち市街化区域となっており、地域地区は、商業地域（建ぺい率：80%，容積率：400，600%），防火地域，準防火地域，駐車場整備地区が指定され、都市計画施設のうち都市計画道路3・2・14広小路となっています。



凡		例		都市計画施設		種類	
都市計画区域		特別工業地区		道路		国道	
市街化区域		観光地区		公園・緑地等		河川	
用途地域	種類	容積率 建ぺい率	スポーツ・レクリエーション地区	【容積率】 建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合			
	第1種低層住居専用地域	80/50	大規模集客施設制限地区	【建ぺい率】 建築物の建築面積の敷地面積に対する割合			
	第2種低層住居専用地域	100/50	特別業務地区	【外壁の後退距離】 1m			
	第1種中高層住居専用地域	200/60	小売店舗地区	(適用) 第1種低層住居専用地域			
	第2種中高層住居専用地域	200/60	高度地区	(適用) 第2種低層住居専用地域			
	第1種住居地域	200/60	高度利用地区	【建築物の高さの限度】 10m			
	第2種住居地域	200/60	防火地域	(適用) 第1種低層住居専用地域			
	準住居地域	200/60	準防火地域	(適用) 第2種低層住居専用地域			
	近隣商業地域	200/80	駐車場整備地区	【高度地区】 建築物の高さの最高限度 13m			
	商業地域	400/80	臨港地区				
	準工業地域	200/60	伝統的建造物群保存地区				
	工業地域	200/60	地区計画決定地区				
	工業専用地域	200/60	土地区画整理事業施行区域				

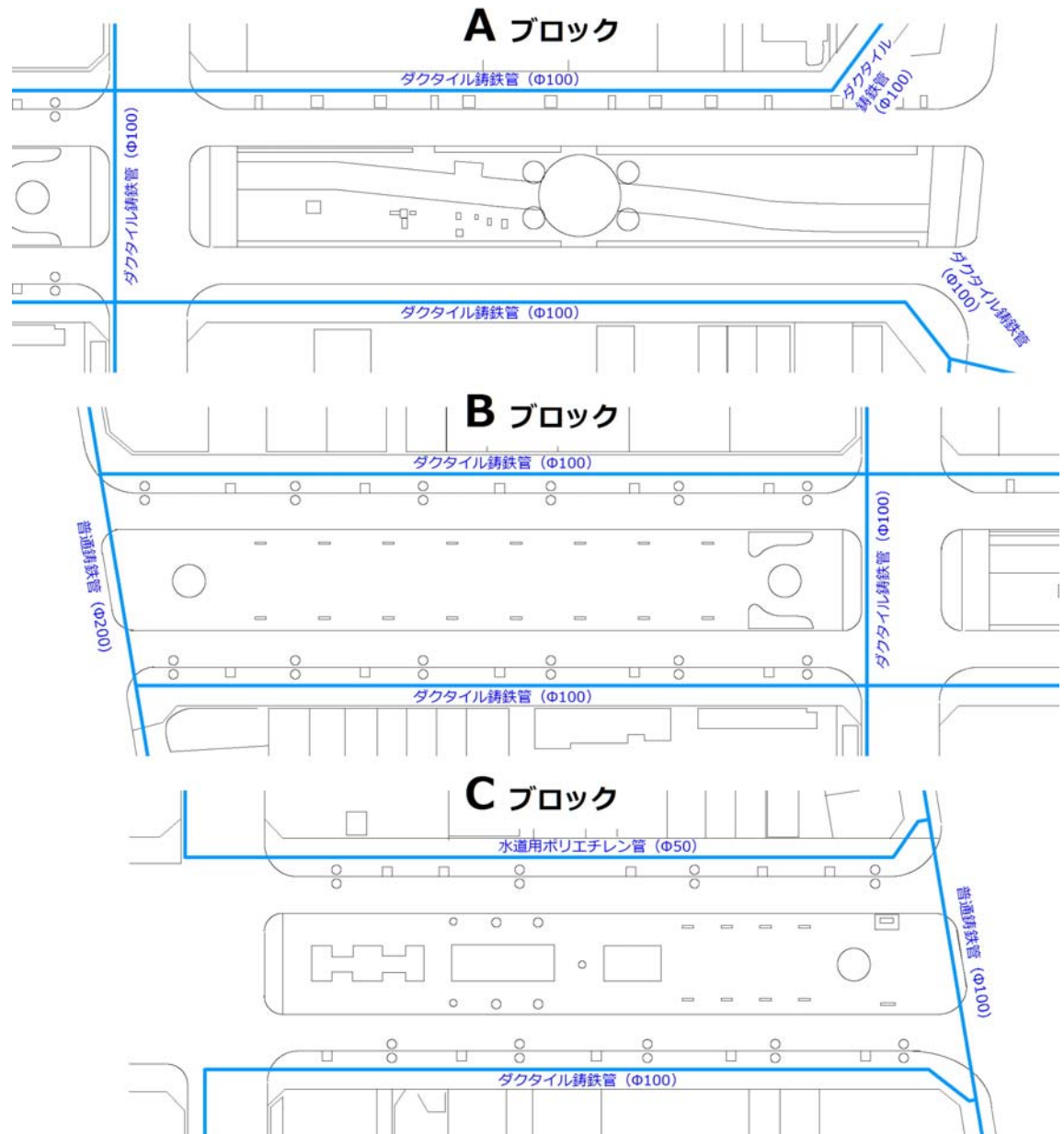
(3) 道路

はこだてグリーンプラザは、都市計画道路3・2・14広小路の区域内にあり、都市計画道路として整備済みの路線となっています。

(4) 上下水道・電気等

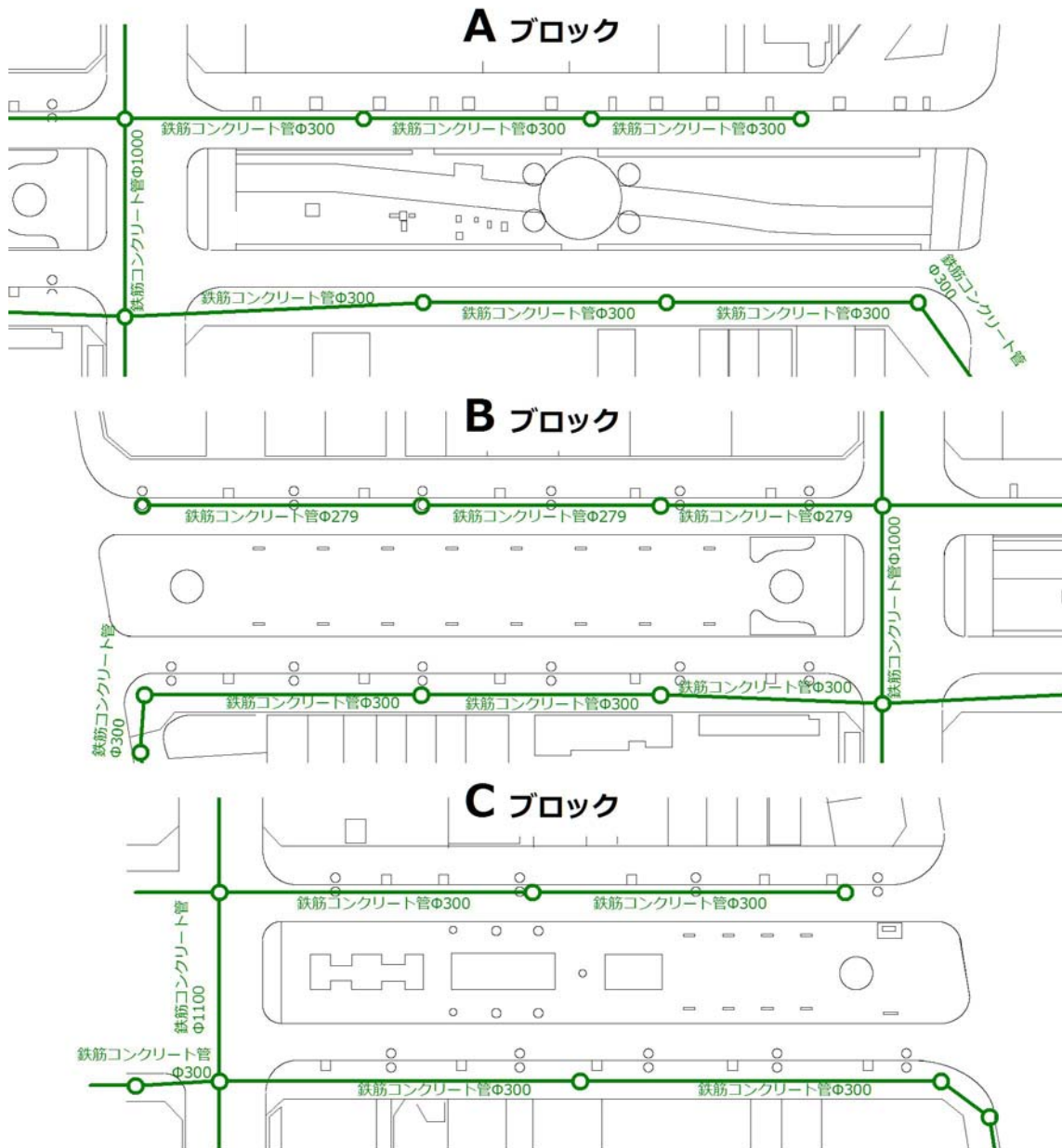
【上水道】

市道広小路の歩道内に配水管が埋設されています。また、都市計画道路3・3・21放射3号線（国道278号）の歩道内に配水管が埋設されています。このうち市道広小路の歩道内には、ダクタイル鋳鉄管（φ100）および水道用ポリエチレン管（φ50）が埋設されており、放射3号線（国道278号）には、普通鋳鉄管（φ100・φ200）が埋設されています。



【下水道】

汚水と雨水を同一の管渠系統で排除する合流式となっており、市道広小路の車道および歩道内には、鉄筋コンクリート管（φ279・φ300）が埋設されています。



【電気・通信】

市道広小路の舗道上に北電柱が設置されており、電気および通信の共架付設がなされています。



□電線電柱の現況（Bブロック）



□電線電柱の現況（Cブロック）

(5) 付帯施設等

各ブロックの基本構成および付帯施設等は、下記のとおりです。

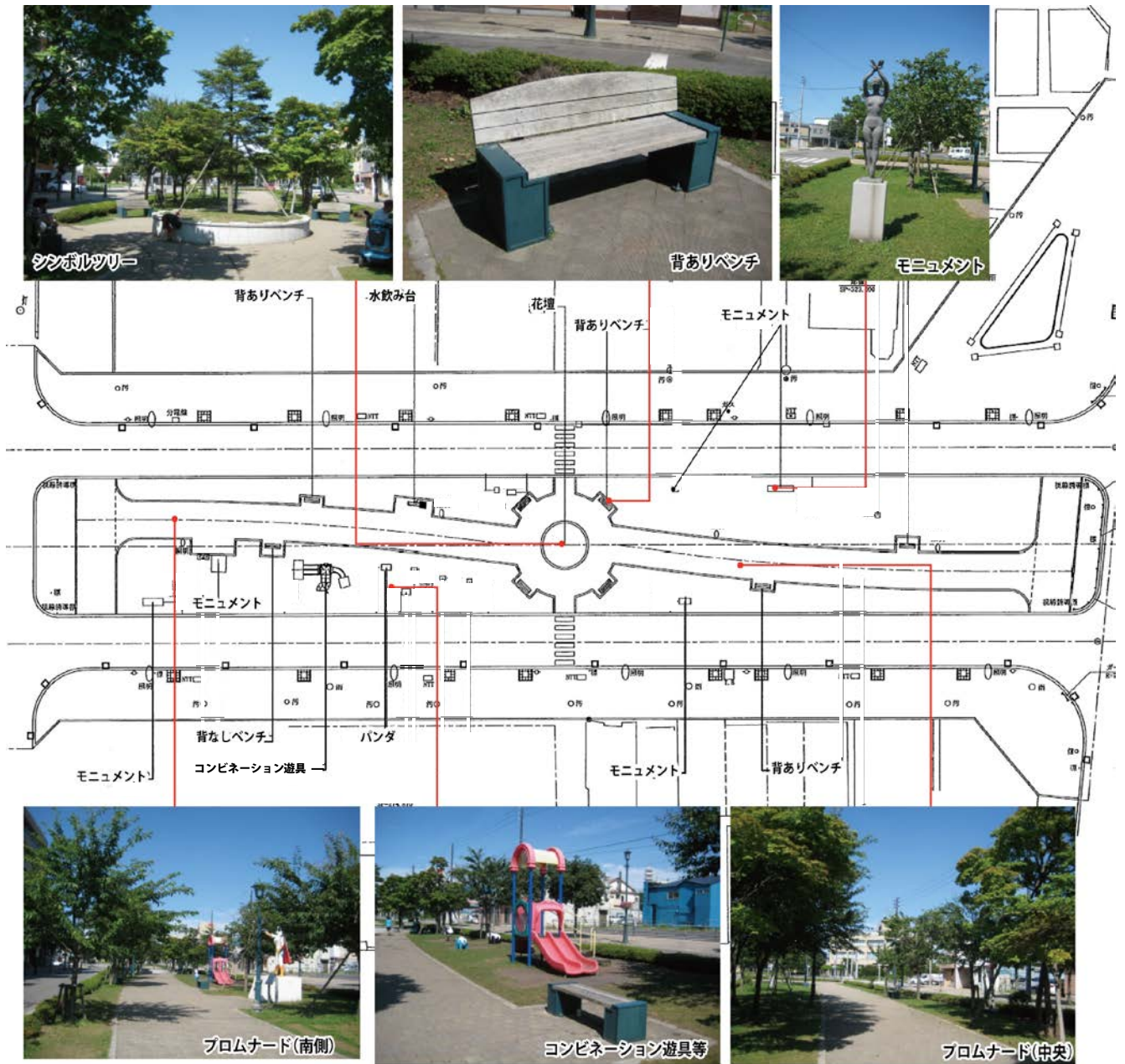
【Aブロック】

基本的に植栽と散策路により構成されています。植栽間には、モニュメントや遊具を配置し、ブロック中央に針葉樹のシンボルツリーを配置しています。また、ソメイヨシノが寄贈され植樹された経緯があります。

- イベント電源（6 k w） 1 基
- モニュメント等
 - ・ 魚 1 基
 - ・ 月光仮面像・説明サイン 各 1 基
 - ・ 鳥 1 基
 - ・ バレリーナ 1 基
- ベンチ
 - ・ 背ありベンチ 6 基
 - ・ 背なしベンチ 2 基
- 遊具
 - ・ コンビネーション遊具 1 基
 - ・ 遊具（パンダ） 5 基
- 水飲み台 1 基
- シンボルツリー 1 本
- シンボルツリー照明 4 灯
- 街路灯 4 灯
- 散水栓 2 ヶ所
- 分離帯分電盤 1 基
- 周辺の関連施設
 - ・ 市道広小路の歩道に設置している街路灯（散水栓付属） 10 基



< Aブロックの現況および主な施設 >



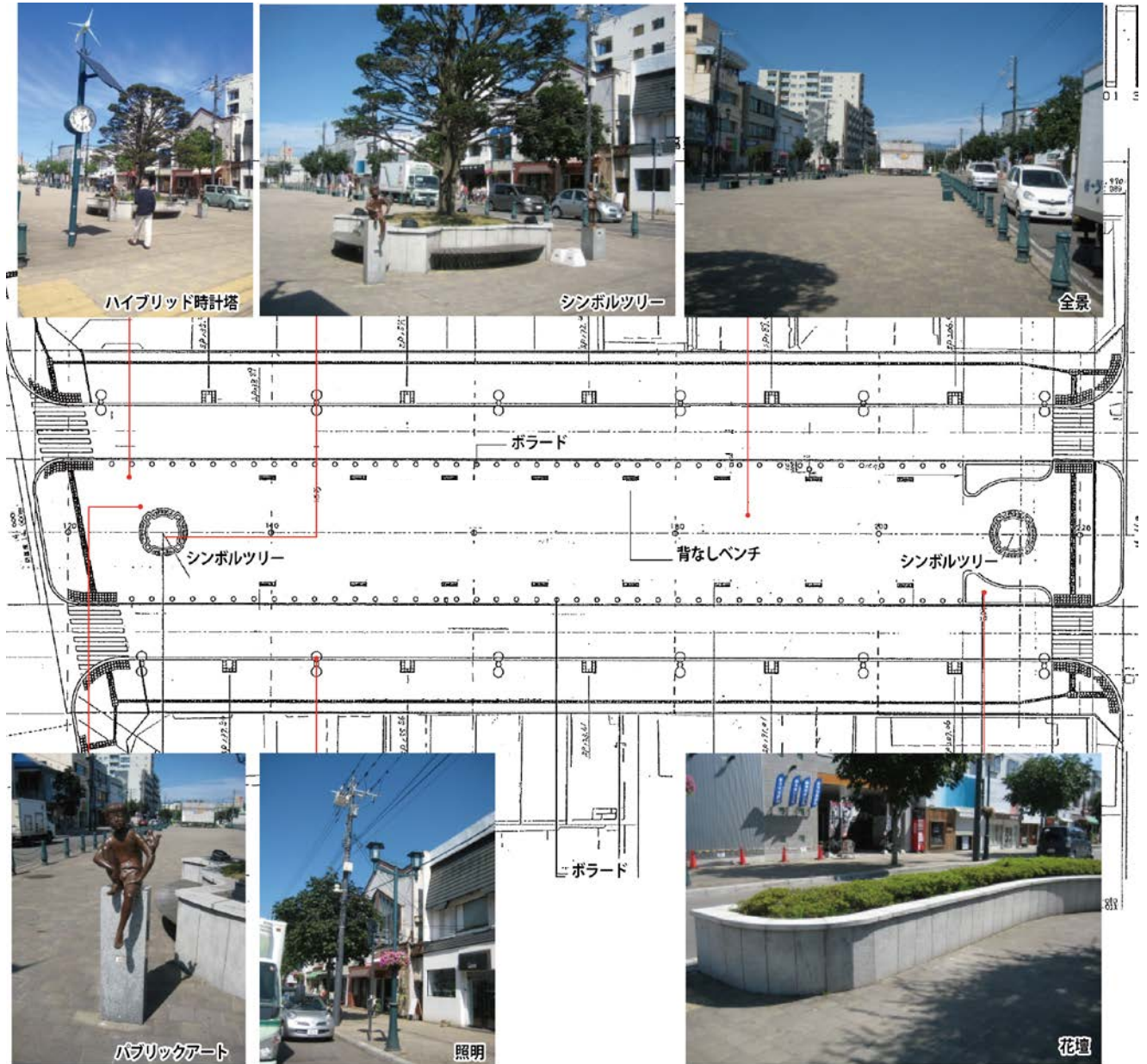
【Bブロック】

基本的に広場空間（インターロッキング仕上げ）により構成されています。ブロックの南北には、シンボルツリーを有するサークルベンチやパブリックアートを設置しているほか、広場空間は、車道と低下縁石で接続されており、歩行者の道路横断を防止するチェーン付きボラードを設置しています。このほか、平常時は背なしベンチを道路に沿って配置しています。

- イベント盤（4kw） 1基
- イベント電源（6kw） 1基
- パブリックアート
 - ・ 函館の妖精 春 1基,
 - ・ 函館の妖精 秋 1基
 - ・ 函館の妖精 調べ 1基
 - ・ 函館の妖精 舞い 1基
- ベンチ
 - ・ サークルベンチ 2基
 - ・ 背なしベンチ 14基
- ボラード 85本
 - ・ ボラードチェーン 162本
- 花壇 3ヶ所
- シンボルツリー 2本
- シンボルツリー照明 8灯
- ハイブリッド時計塔 1基
- 散水栓 2ヶ所
- 分電盤
 - ・ 分離帯分電盤 1基
 - ・ 時計塔分電盤 1基
- 周辺の関連施設
 - ・ 市道広小路の歩道に設置している街路灯（散水栓付属） 12基



<Bブロックの現況および主な施設>



【Cブロック】

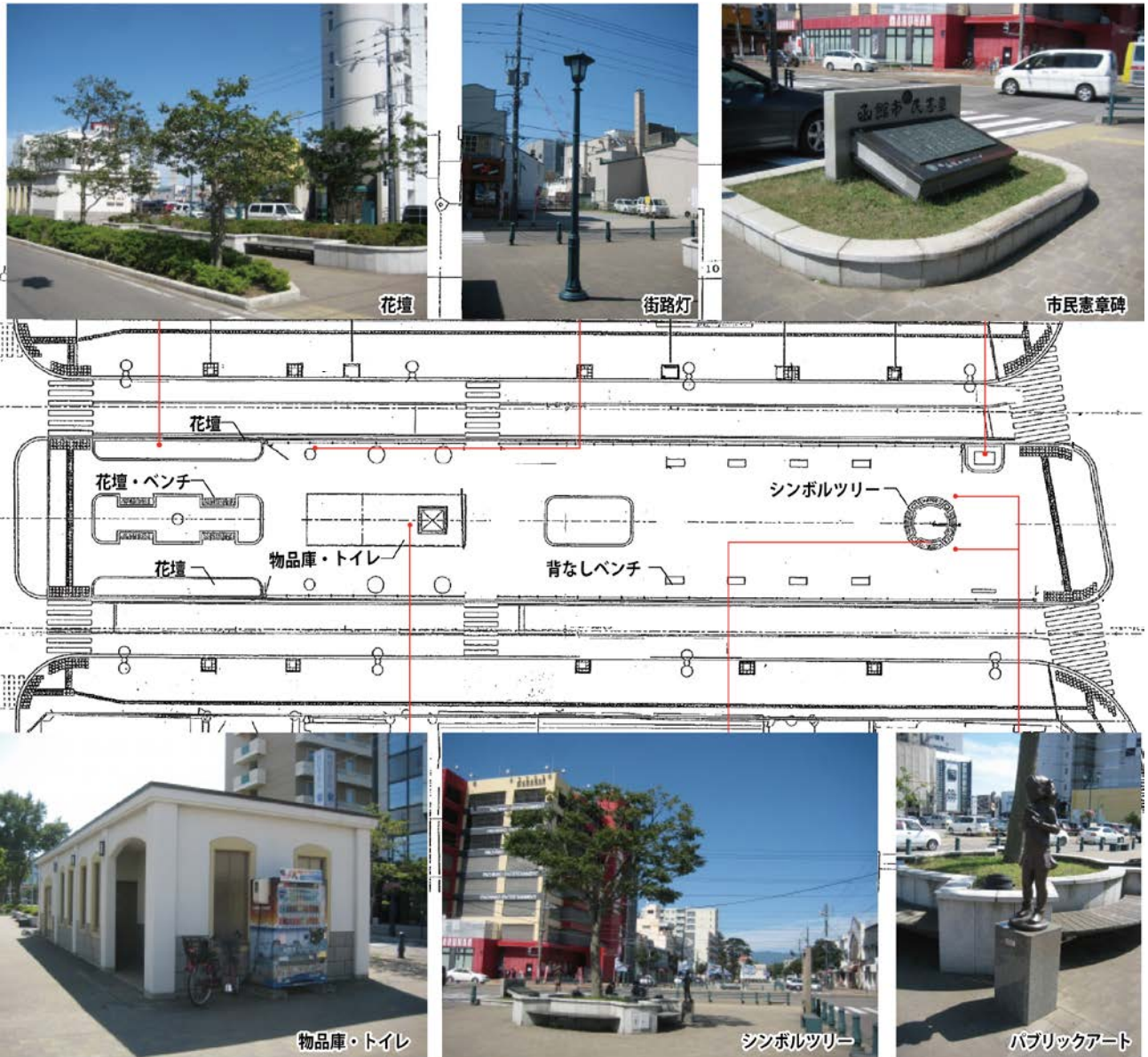
北側は広場空間（インターロッキング仕上げ）、ブロック中央にトイレ施設および物品庫，南側にベンチを組み込んだ花壇により構成されています。広場空間には，シンボルツリーを有するサークルベンチのほか，パブリックアート，観光案内板および市民憲章碑を設置しています。

- 多目的トイレ
 - ・ 便器（洋式 1基）
 - ※ 手すり（L字型手すり 1個，その他手すり 3個），ベビーシート 1基，ベビーチェア 1基，洗面カウンター 1台，ハンドドライヤー 1台，鏡 1枚
 - ・ 照明（蛍光灯 1灯）
- 男子トイレ
 - ・ 便器（小便器 3基，和式大便器 1基）
 - ※ 手すり 2個，洗面カウンター 1台，ハンドドライヤー 1台，鏡 1枚，
 - ・ 照明（四角型 3灯，丸型 5灯）
- 女子トイレ
 - ・ 便器（洋式 1基，和式大便器 1基）
 - ※ 手すり 2個，洗面カウンター 1台，ハンドドライヤー 1台，鏡 1枚，清掃用流し台 1台
 - ・ 照明（四角型 3灯，丸型 4灯）
- 物品庫
 - ・ 照明（蛍光灯 4灯）
- その他建物付属設備
 - ・ フロアヒーティング（出入口付近）
 - ・ コンセント盤（6kw） 1基
 - ・ 防犯ベル 1個
 - ・ 照明（入口：四角型 4灯，丸型 2灯，側面：四角型 6灯）
- イベント盤（6kw） 1基
- パブリックアート
 - ・ 森の光 1基
 - ・ 森の風 1基
- ベンチ
 - ・ サークルベンチ 1基
 - ・ 背なしベンチ 16基
- ボラード 70本
- ボラードチェーン 132本
- 花壇（ベンチ4基付属） 2ヶ所
- シンボルツリー 1本
- シンボルツリー照明 4灯

- 観光案内板 1基
- 市民憲章碑 1基
- 各種メーター
 - ・ 水道メーター 1個
 - ・ 参考メーター 1個
 - ・ 電気メーター 1個
 - ・ フロアヒーティングメーター 1個
- ガス圧力計 1基
- 街路灯 4灯
- 散水栓 2ヶ所
- 周辺の関連施設
 - ・ 市道広小路の歩道に設置している街路灯（散水栓付属） 8基



<Cブロックの現況および主な施設>



1-2-4 イベント等の実施状況

(1) イベント件数と参加人数

近年のイベント催事の開催数は年間80件程度となっています。移動販売を除くと平成25年度の39件に対し、平成27年度には60件と増加傾向にあります。

また、イベント等への参加人数では、年間30万人規模でやや増加傾向にあり、最も参加者数の多いイベントは「はこだてグルメサーカス」(9月)で、平成27年度では17万人に上っています。このほか、はこだて花と緑のフェスティバル(6月)、函館港まつり(8月)などの規模の大きいイベントが開催されているほか、夏季の週末には100~400人規模が参加するフリーマーケットの開催が定着してきています。

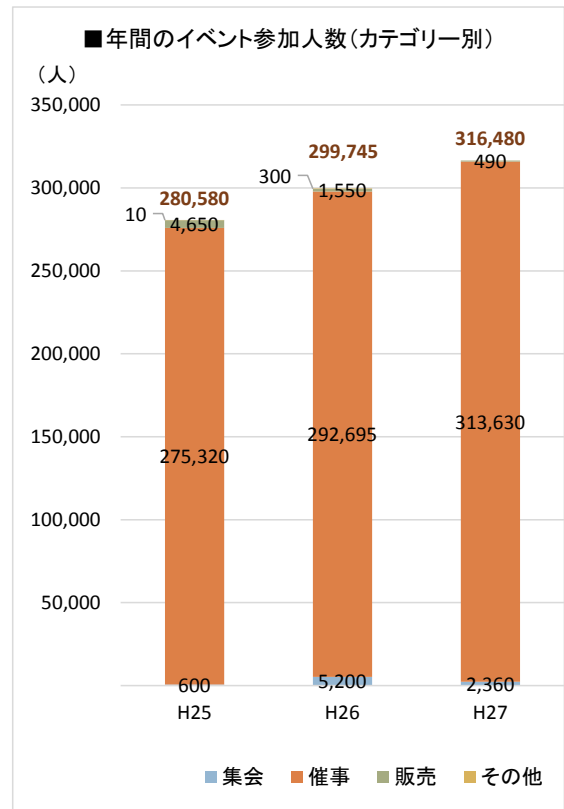
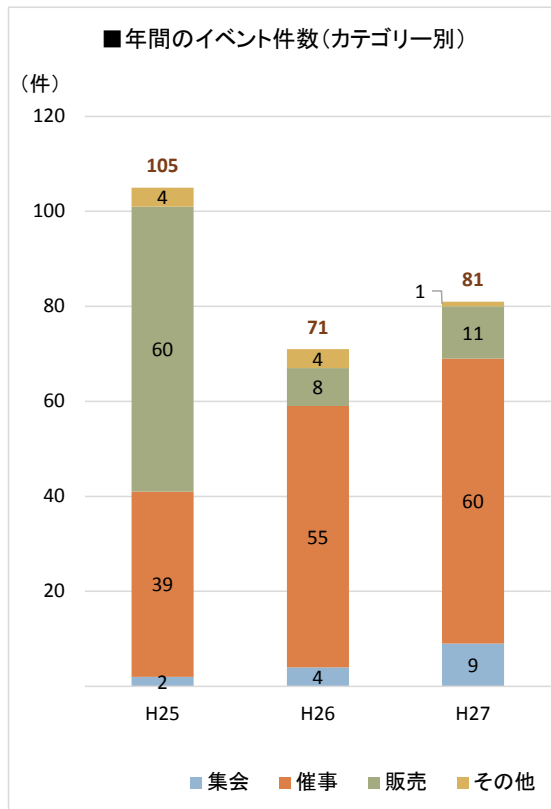
移動販売を中心とした物販飲食については、平成25年に年60日もあったものが、近年は10日程度となっているものの、再整備で魅力づくりを図ることで日常利用を増進し、物販飲食の市民ニーズが高まることが期待されます。

■ 年間のイベント件数(カテゴリー別)

	(件)		
	H25	H26	H27
集会	2	4	9
催事	39	55	60
販売	60	8	11
その他	4	4	1
合計	105	71	81

■ 年間のイベント参加人数(カテゴリー別)

	(人)		
	H25	H26	H27
集会	600	5,200	2,360
催事	275,320	292,695	313,630
販売	4,650	1,550	490
その他	10	300	-
合計	280,580	299,745	316,480



※H25：移動販売により販売件数・人数が一時的に増加した。

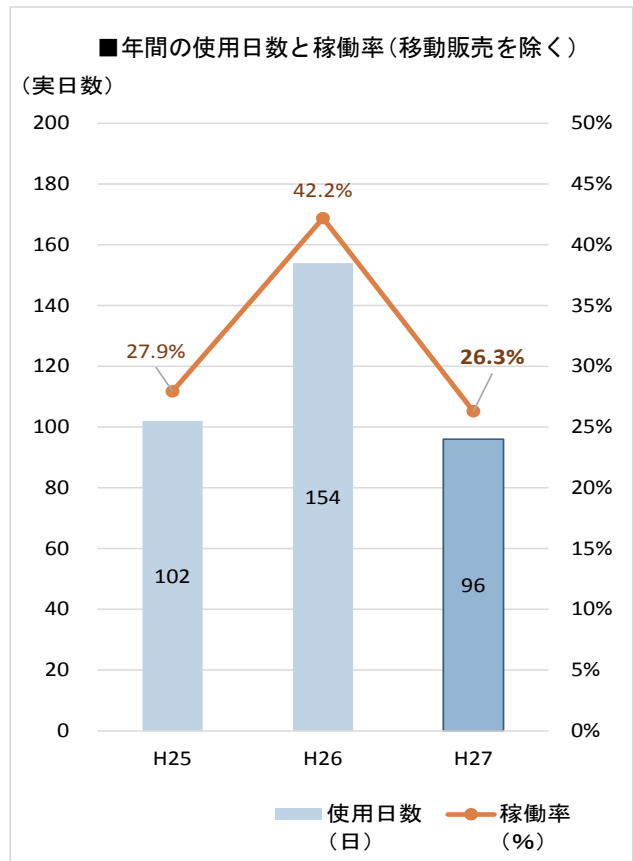
(2) 使用日数と稼働率

年間のイベント稼働率（移動販売を除く。いずれかのブロックでイベント催事が開催している日数の年割合）は、おおむね27%であります。イベント催事件数や利用者数は増加傾向にあることなどから、イベント開催のための機能をさらに高めることにより、今後の利活用の増進が期待されます。一方、イベント催事が開催されない日常利用の状態は7割以上であることから、日常利用にふさわしい空間づくりとイベント開催しやすさの両立に配慮することが求められます。

■年間の使用日数と稼働率（移動販売を除く）

	H25	H26	H27
使用日数 (日)	102	154	96
稼働率 (%)	27.9%	42.2%	26.3%

※平成26年度には、第41回青函宝探し（夏季23日間）とスノーパーク（冬季61日）の開催があり、稼働日数の増加がみられました。



<函館グルメサーカスの開催状況（Bブロック）>



1-3 各種計画との関係

(1) 函館市基本構想（2017～2026）

函館市基本構想（2017～2026）では、めざすべき将来像を「北のクロスロード HAKODATE～ともに始める 未来を拓く～」とし、市民、企業、団体および行政が一体となって取り組むべきまちづくりの指針として策定しており、本整備基本計画は、函館市基本構想「第5章 将来像実現に向けた取組の方向性」における「1 重点プロジェクト（2）魅力向上プロジェクト」および「基本目標4 日本一魅力的なまち函館を次世代へ継承します」に掲げる施策「⑬ 魅力ある景観・町並み・市街地の形成」に資する計画です。

(2) 函館市都市計画マスタープラン

函館市都市計画マスタープラン（計画期間：平成23年～42年）では、5つのまちづくりの目標を掲げており、主に「2 快適・安全なまちづくり」「4 美しくうるおいあふれるまちづくり」における方針（土地利用・都市施設整備・都市環境の方針）に即して策定する計画です。

(3) 「ガーデンシティ函館」の実現をめざして

ガーデンシティ函館（重点推進期間：平成28年度～42年度）では、函館のまち全体が、緑あふれる公園やオープンガーデンのように、見て、歩いて、感じて楽しい、美しいまちになるよう、長期的なまちづくりに取り組むとしており、駅前・大門を重点推進エリアの1つに設定し、グリーンプラザの整備事業を「ガーデンシティ函館」の実現に向けた事業の1つに位置付けています。



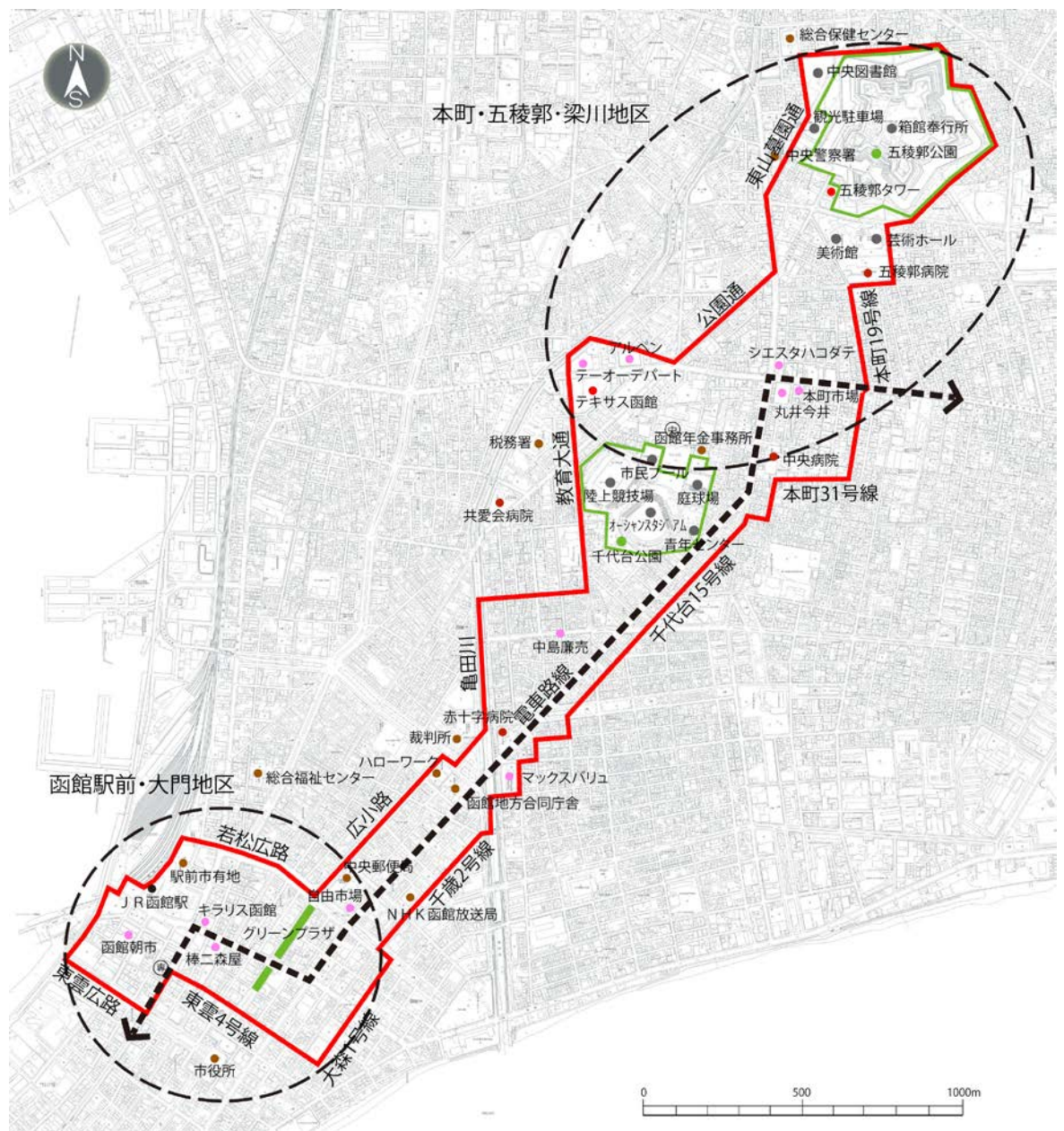
出典：函館市・「ガーデンシティ函館」の実現をめざして

(4) 函館市中心市街地活性化基本計画

函館市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成25年度～29年度）では、基本コンセプトを「市民生活と歴史・文化、観光が融合した回遊性の高いまちづくり」とし、基本方針を「1）賑わいある集客拠点の創出，2）新たな交流を生む都市空間の創出，3）魅力ある生活空間の創出」と定め、この方針の実現に向けて登載する具体的事業の1つとして「グリーンプラザ整備事業および市道広小路整備事業」を位置付けています。

グリーンプラザ整備事業および市道広小路整備事業については、函館市の新しいシンボルとなり、駅前通との連続性を考慮したイベント機能も兼ね備えた賑わい空間として整備し、新たな都市空間を創出することにより、観光客等の来街を促進し、賑わい創出や回遊性の向上を図るうえで必要な事業としています。

＜中心市街地活性化区域＞



2. はこだてグリーンプラザの課題

2-1 市民および地域ニーズの把握

はこだてグリーンプラザへの市民および地域ニーズを把握するため、市民アンケート、関係団体ヒアリング、学生ワーキングおよび市民説明会を実施しました。

2-1-1 市民アンケートの実施

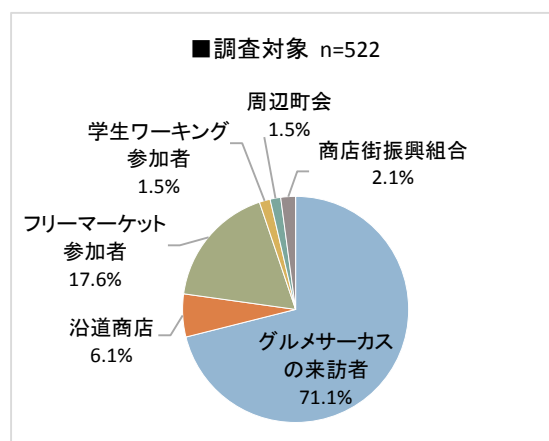
(1) 調査概要（調査方法・回収数）

アンケート調査の対象とその方法・回収数などについては以下のとおりです。

対 象	調査方法	調査日程 (平成28年)	回収数
グルメサーカスの来訪者	調査員と対面式	9/10~11	371
沿道商店	配布・回収	10/15~16	32
フリーマーケット参加者	調査員と対面式	10/16	92
学生ワーキング参加者	WS終了後に配布・回収	10/17	8
周辺町会	配布・回収	10/17	8
商店街振興組合	配布・回収	11/28	11
合計			522

■調査対象 n=522

	人数	割合
グルメサーカスの来訪者	371	71.1%
沿道商店	32	6.1%
フリーマーケット参加者	92	17.6%
学生ワーキング参加者	8	1.5%
周辺町会	8	1.5%
商店街振興組合	11	2.1%
合計	522	100.0%

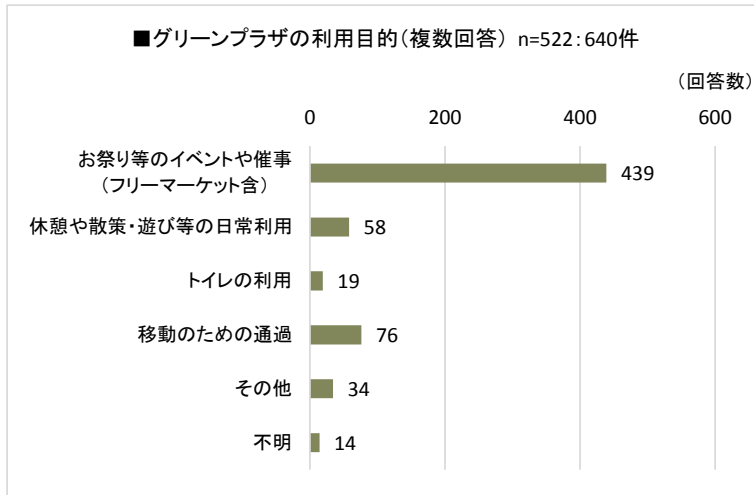


実際のアンケート調査については、属性（性別、年代など）のほか、来訪頻度、利用目的、グリーンプラザの印象、グリーンプラザの整備にあたって大事に思うことなどの5つの項目を調査しました。

(2) 調査結果の概要

【グリーンプラザの利用目的】

はこだてグリーンプラザを利用する目的は、「お祭り等のイベントや催事」が84.1%で、休憩や散策、遊び等の日常利用は極めて限定的であることがわかりました。

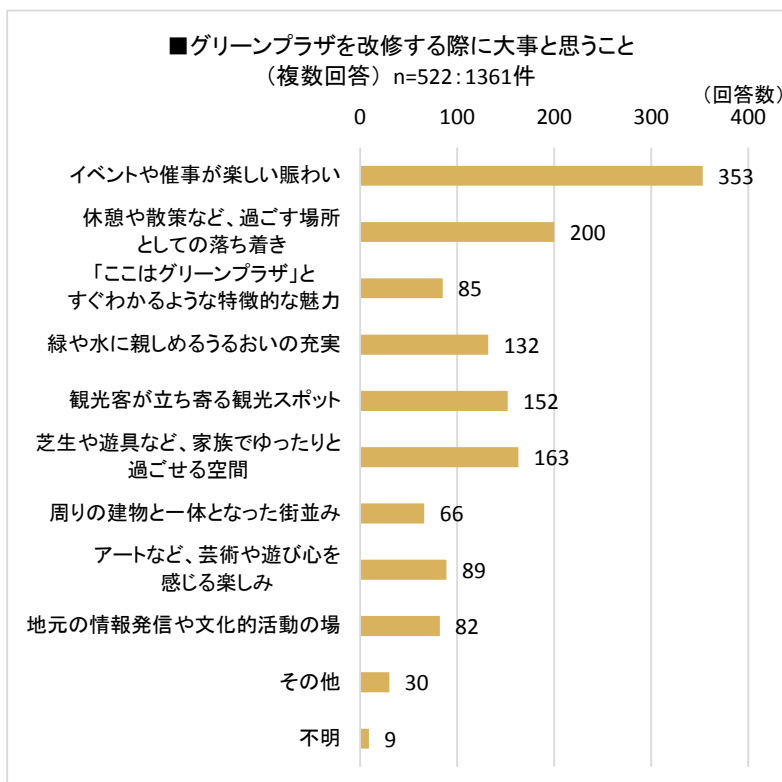


■グリーンプラザの利用目的(複数回答) n=522:640件

	回答数	割合
お祭り等のイベントや催事 (フリーマーケット含)	439	84.1%
休憩や散策・遊び等の日常利用	58	11.1%
トイレの利用	19	3.6%
移動のための通過	76	14.6%
その他	34	6.5%
不明	14	2.7%
合計	640	122.6%

【グリーンプラザを改修する際に大事に思うこと】

「イベントや催事が楽しい賑わい」が最も多く67.6%、次いで「休憩や散策など、過ごす場所としての落ち着き」が38.3%、「芝生や遊具など、家族でゆったり過ごせる空間」さらには「緑や水に親しめるうるおいの充実」といった回答も多いほか、「観光客が立ち寄る観光スポット」としての整備についても30%程度が回答しており、イベント等の賑わいととも、「日常を過ごす場所としての魅力づくり」や「観光客への視点」が市民ニーズとして高くなっています。



■グリーンプラザを改修する際に大事と思うこと
(複数回答) n=522:1361件

	回答数	割合
イベントや催事が楽しい賑わい	353	67.6%
休憩や散策など、過ごす場所としての落ち着き	200	38.3%
「ここはグリーンプラザ」とすぐわかるような特徴的な魅力	85	16.3%
緑や水に親しめるうるおいの充実	132	25.3%
観光客が立ち寄る観光スポット	152	29.1%
芝生や遊具など、家族でゆったり過ごせる空間	163	31.2%
周りの建物と一体となった街並み	66	12.6%
アートなど、芸術や遊び心を感じる楽しみ	89	17.0%
地元の情報発信や文化的活動の場	82	15.7%
その他	30	5.7%
不明	9	1.7%
合計	1,361	260.7%

2-1-2 イベント主催者・町会ヒアリングの実施

(1) ヒアリングの概要

○ヒアリング日程：8月から11月に実施しました。

○ヒアリング方法：各種団体ごとに意見を聴取しました。

○ヒアリング対象団体：以下のとおりです。

(指定管理者)

- ・株式会社はこだてティーエムオー

(イベント・催事主催者)

- ・函館港まつり実行委員会，大門合同学生祭実行委員会，花と緑のフェスティバル実行委員会，はこだてグルメサーカス実行委員会，オフタイム（フリーマーケット）

(地元団体等)

- ・函館都心商店街振興組合，周辺町会（東雲町・大森町・松風町・若松町・新川町）

(近隣施設運営者)

- ・函館自由市場協同組合，社会福祉法人函館共愛会中央認定こども園

(市民活動団体等)

- ・NPOサポートはこだて，NPO法人スプリングボードユニティ21

(2) 主な意見

○過ごす場としてのグリーンプラザ

- ・もっと日常過ごせる緑豊かな空間に整備して欲しい。
- ・芝生や噴水など水施設を導入してはどうか。
- ・子供達の遊戯施設は大人も楽しめるものを設置してはどうか。
- ・花を楽しめるなどの彩りをもっと増やして欲しい。

○イベントの場としてのグリーンプラザ

- ・イベント用の路面仕上げの広場は確保して欲しい。
- ・トイレは，電車道路（国道278号）を挟んで北側にも整備をして欲しい。
- ・ステージは，常設が望ましい。
- ・電気や給排水施設の箇所数・容量が不足している。

○その他

- ・駐車場を確保（近隣街区を含め）して欲しい。

2-1-3 学生ワーキングの開催

(1) 学生ワーキングの開催概要

はこだてグリーンプラザでは，函館市内の8校の学生による「大門合同学生祭」が平成14年より毎年7月に開催されています。このため，はこだてグリーンプラザ利用団体および若年層のニーズを把握するため，大門合同学生祭実行委員会の主たる実行委員の意見聴取をワークショップスタイルで行いました。

○開催日：平成28年10月17日（月）

○参加者：市内大学生9名

(2) 主な意見**○過ごす場としてのグリーンプラザ**

- ・日常過ごせる場所としての潤いや心地よさが必要。
- ・トイレを広場（Bブロック）側に設置する。
- ・親子で楽しむ遊びや食をもっと入れる。
- ・芝生や水辺、小さな丘を入れてはどうか。
- ・水辺や園路、樹木のライトアップ。

○イベントの場としてのグリーンプラザ

- ・イベント用具の収納は、広場ブロック（Bブロック）に設置する。

○その他

- ・情報を発信できる掲示板やインフォメーションを設置する。
- ・スケボーなどタウンスポーツも取り入れてはどうか。

2-1-4 市民説明会の開催

整備基本計画の検討に当たって、検討経過の中間報告の形で、ヒアリングを行った関係団体などを中心に一般市民向けの「説明会」（参加者約30名）を開催しました。

(1) 開催概要

- 開催日：平成28年12月20日（火）
- 場 所：ふらっとDaimon（若松町17-12 棒二森屋アネックス6階）

(2) 主な意見

説明会では、イベント利用や導入施設などについて、参加者から次のような意見がありました。

- イベント時の使い勝手に配慮すること。
 - ・Bブロックの芝生緑化によって、イベント時の面積を確保できないことのないように配慮して欲しい。
- 交通に関する安全管理に配慮すること。
 - ・横断防止用にボラードやくさりなど、危険のないよう整備して欲しい。
- 既存の樹木やモニュメントの取り扱いをきちんと整理して欲しい。
- 計画検討の周知をしっかりと行うこと。
- 整備内容、交通計画の変更検討、年次計画等については、合意形成の上進めること。

2-1-5 調査結果の考察

およそ500件の市民アンケート、イベント主催者・町会ヒアリング、学生ワーキング、市民説明会と様々な切り口でニーズ調査を行った結果、はこだてグリーンプラザに対しては、イベントを行える場所としての期待度が高いことが明白となった一方で、市民が日常的にゆったりと憩える空間として、遊び心をもった仕掛けとなる芝生や水辺のほか遊具など、家族で、グループで、また一人で楽しく過ごせるものとしての要望が強い結果となっています。

また、「イベント時のための機能向上」「日常過ごせる場所としての整備」とともに、観光客が立ち寄る観光スポットとして訪れたいくなるような、国際観光都市函館にふさわしい空間としての整備が求められていることから、これら3つの点を踏まえた施設整備を進める必要があります、その上では丁寧な説明を重ね、合意形成を図ることが重要です。

2-2 果たすべき機能と整備の基本的視点

現況と課題を踏まえ、市民、イベント、観光客をキーワードに以下のとおり果たすべき機能を設定します。

< 現 況 >

- ・ ゆったりと過ごす空間的魅力が不足
- ・ 賑わいづくりの広場として機能不足
- ・ 観光客が訪れたい場所としての魅力の欠如

< 課 題 >

- ・ 市民が過ごす空間としての日常利用や魅力の向上
- ・ イベント催事を支える施設機能の充実
- ・ 観光客も訪れるデザイン性に優れた魅力的な空間の整備

市民が憩いくつろぐ機能
賑わいの舞台となる活性化機能
観光資源となる機能

果たすべき機能

はこだてグリーンプラザの果たすべき機能を整備するため、以下の基本的視点から検討します。

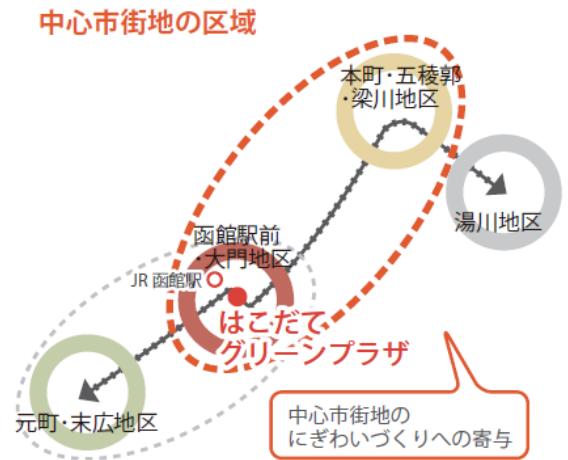
- ① 中心市街地活性化の視点
- ② 市民の暮らしと都市観光への視点
- ③ 新たな都市・環境デザインの視点

(1) 中心市街地活性化の視点

これまで様々なイベントを開催し、市民と共に来訪者に親しまれてきたはこだてグリーンプラザは、函館駅前・大門地区の中央に位置し、JR函館駅に近接し、また観光拠点である元町・末広地区へ向かう市電ルート上にあります。

近隣の商業集積を生かし、また、はこだてグリーンプラザで引き続き多くのイベント等が開催され、そして、だれもが立ち寄りたくなる場であるための魅力的な空間づくりとそこで過ごすことが新しいスタイルとなる付加価値づくりを進める視点をもって、中心市街地の賑わいづくりの基点となるようなグリーンプラザを目指します。

<中心市街地活性化のダイヤグラム>

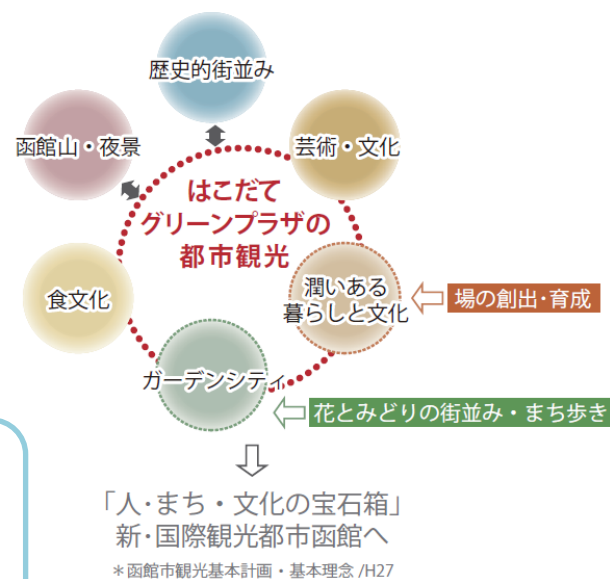


- ・賑わいづくりの連携
- ・イベントをここで開催したくなる広場づくり
- ・市民が立ち寄りたくなる魅力づくり
- ・市電から見える賑わい

(2) 市民の暮らしと都市観光への視点

グリーンプラザには、市民にとって暮らしの一部として過ごせる潤いづくりが求められています。また、一方では、そこにある暮らし、地域に暮らす人々との交流が観光客にとって大切な旅の要素となっています。市民が身近に感じ、親しみの持てる空間とすることを基本に、緑や光（夜景）が特徴的なデザイン性に優れた魅力的な空間を創出することによって、「市民」そして「観光客」が互いに交流できる、双方が満足できる、拠点づくりを目指します。

<暮らしと都市観光のダイヤグラム>



- ・新しい都市文化としての風景・夜景の創出
- ・市民と観光客がともに過ごす「はこだてスタイル」
- ・潤いのある暮らしと文化を感じる
- ・市民、観光客など誰にもやさしい空間

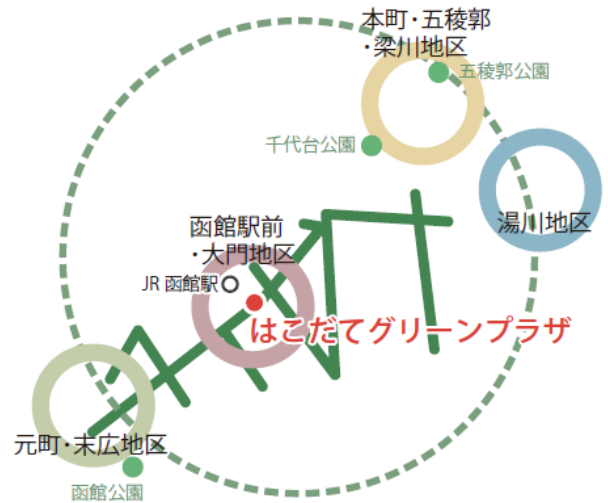
(3) 新たな都市・環境デザインの視点

歴史的な資源であり、市街地にネットワークされた「防火帯」は、函館らしい都市空間の骨格といえます。

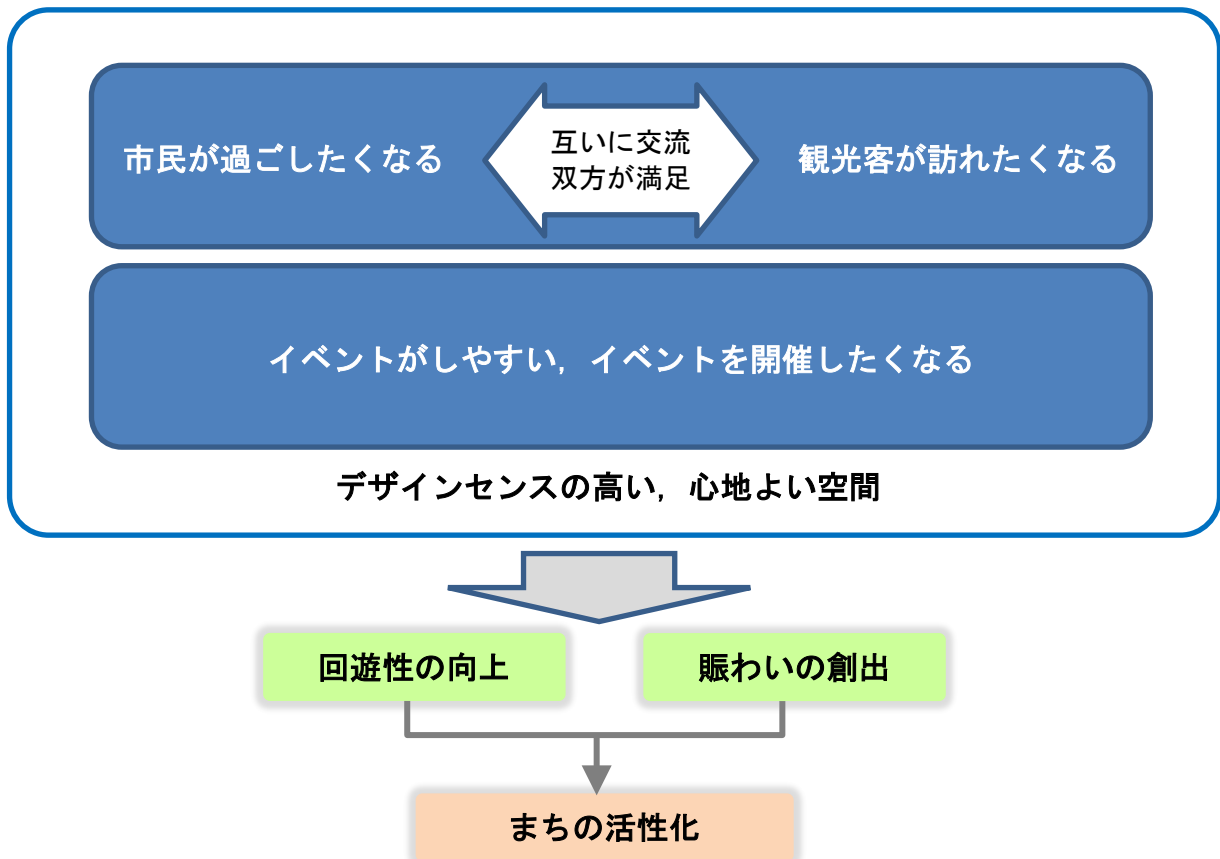
そうした大切な空間を、単なるながめるシンボリックな緑から、心地よく過ごせる暮らしの空間として、また、「ガーデンシティ函館」で展開されるデザイン性の高い空間づくりのネットワークでは、先行的な取り組みとして、街並みと一体となった緑と花による新しい空間を創出します。

- ・ 函館山から五稜郭公園を含む都市軸の柱
- ・ 「ガーデンシティ函館」における取り組み事例
- ・ 街並みと呼応する彩りづくり
- ・ 防火帯ネットワークの継承と魅力アップ

<都市・環境デザインのダイヤグラム>



3つの視点をもって、果たすべき機能を持った新しいはこだてグリーンプラザをイメージし、次の章で基本コンセプトを設定します。



3. 基本コンセプトおよび基本方針の設定

3-1 基本コンセプトの設定

第2章で整理したはこだてグリーンプラザの整備の基本的視点を踏まえ、基本コンセプトを以下のとおり設定します。

市民そして来訪者もここで過ごしたくなる、新しいグリーンプラザ
～日常の潤いある空間再生と新たな魅力づくり～

3-2 基本方針の設定

基本コンセプトの実現のため、基本方針を以下のとおり設定します。

(1) 市民が親しみ過ごす、心地よい広場づくり

市民が大門地区でちょっと立ち寄る憩いの場～市民のサードプレイス

自分のお気に入りの場が誰にでも見つかる
自分の居心地の良い場がたくさん見つかる

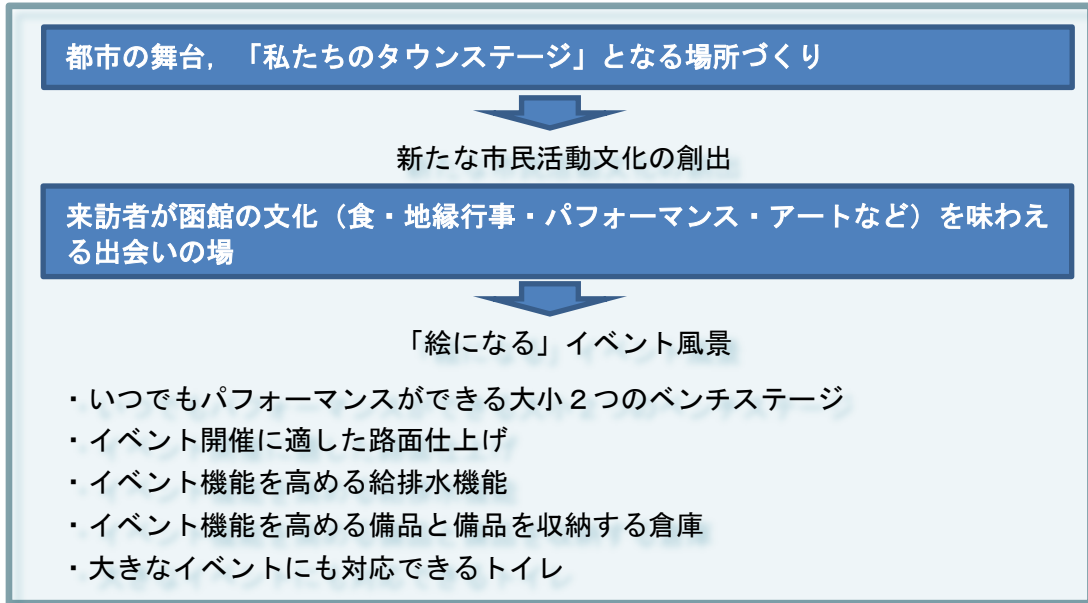
- ・ 家族連れが過ごしたくなる芝生や水のある空間
- ・ 季節感を楽しめる宿根草ガーデン
- ・ 花をあしらった建築物
- ・ Wifi機能が広がる空間

(2) ここはグリーンプラザ、とすぐにわかる魅力づくり

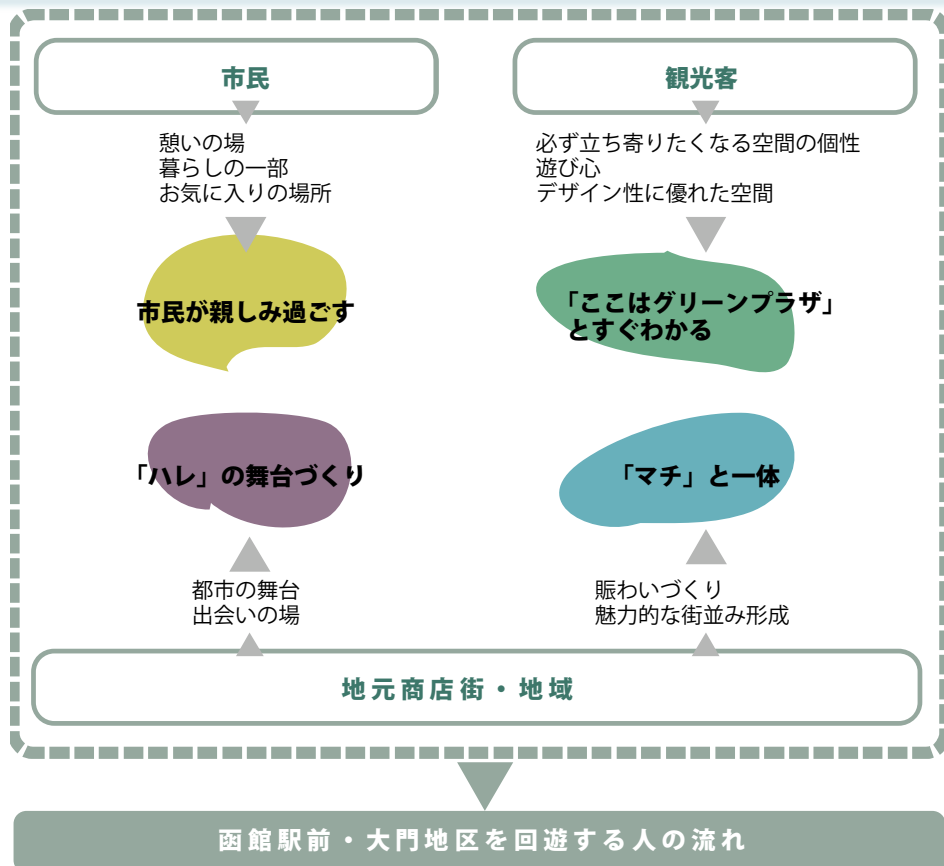
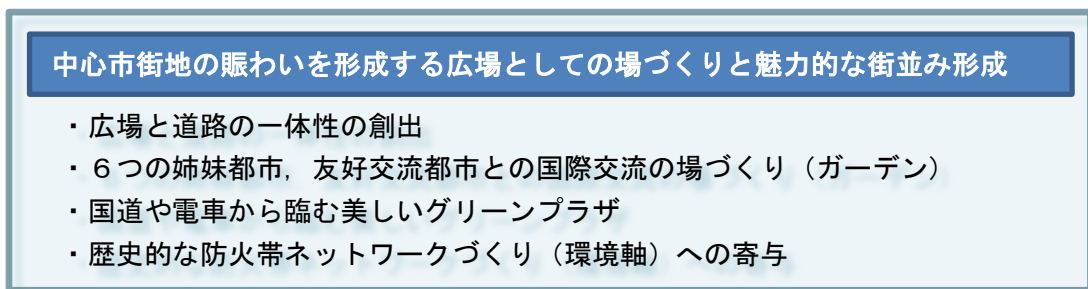
地元市民にとっては自慢、来訪者にとっては必ず立ち寄りたくなる空間の個性

- ・ 緑のある風景
- ・ 新しい函館の夜景を創出～光のランドスケープ
- ・ 春一番に咲く、色艶やかなガーデン
- ・ 遊び心のある小さな仕掛け（遊具やベンチ）やモニュメント・水路等
- ・ 大きなベンチステージ
- ・ 水路のあるウッドデッキ等によるデザイン性に優れた空間

(3) 皆が心待ちする「ハレ」の舞台づくり



(4) 「マチ」と一体となった広場づくり



4. 整備計画

第3章では、設定した基本コンセプトおよび4つの基本方針に基づき、はこだてグリーンプラザの魅力を演出するためのアイテムを少しずつ紹介しましたが、改めてここでそうしたアイテムについて検討整理し、各ブロックにおける整備テーマを設定します。

4-1 はこだてグリーンプラザの魅力の演出

はこだてグリーンプラザは、JR函館駅に近接し、市民や来訪者にとって立ち寄りやすい場所に位置しており、多くの市民や来訪者が憩いくつろぐとともに、ここで写真を撮りたいと思うようなデザイン性に優れた魅力的な空間が求められています。

そのためには、グリーンプラザの顔となる永く定着していく要素を導入し、ここで誰もが写真を撮りたいと思う空間を演出しなければなりません。

こうした空間を実現するための要素として、フォリー、植物、光、水辺、大きなベンチステージ、木製遊具の6つのアイテムを上手に組み合わせることにより、個性的な昼の魅力、夜の魅力、そして四季を通じた変化を演出します。

- グリーンプラザの顔となる永く定着していく要素の導入
- ここで写真を撮りたいと思う空間の演出



6つのアイテムを活用し、様々な仕掛けを展開
～市民そして来訪者もわざわざ行きたくなるグリーンプラザ～

【昼間の魅力】

- ・子どもから大人まで憩い、楽しむ事ができる。しかも個性的で被写体となるようなフォリー、木製遊具、ウッドデッキ、ベンチステージのデザインと配置。
- ・憩える芝生、四季によって異なる姿を見せる樹木と草花。
- ・水路や遊具などで戯れる子ども達。

【夜の魅力】

- ・新しく函館の夜の風景として加わるフォリー、ベンチステージのやわらかい光で演出された夜の物語。
- ・わざわざ見に来たくなる動きのある光の演出や仕掛け。
- ・木、植物は光の背景となり、その成長により魅力に変化が生まれる。

4-2 3つのブロックの整備テーマの設定

はこだてグリーンプラザを構成する3つのブロックに、それぞれの場所の特性と担うべき役割に配慮し、それらに応じた特徴を持った整備テーマを設定します。

【Aブロック】花とみどりと森

- ・ 樹木や宿根草による緑の構成で、地域の魅力が通年連続する〈花〉の仕掛け。
- ・ 地域の高齢者や家族連れが日だまりや緑陰でゆったりと過ごすことのできる空間づくりを目指す。

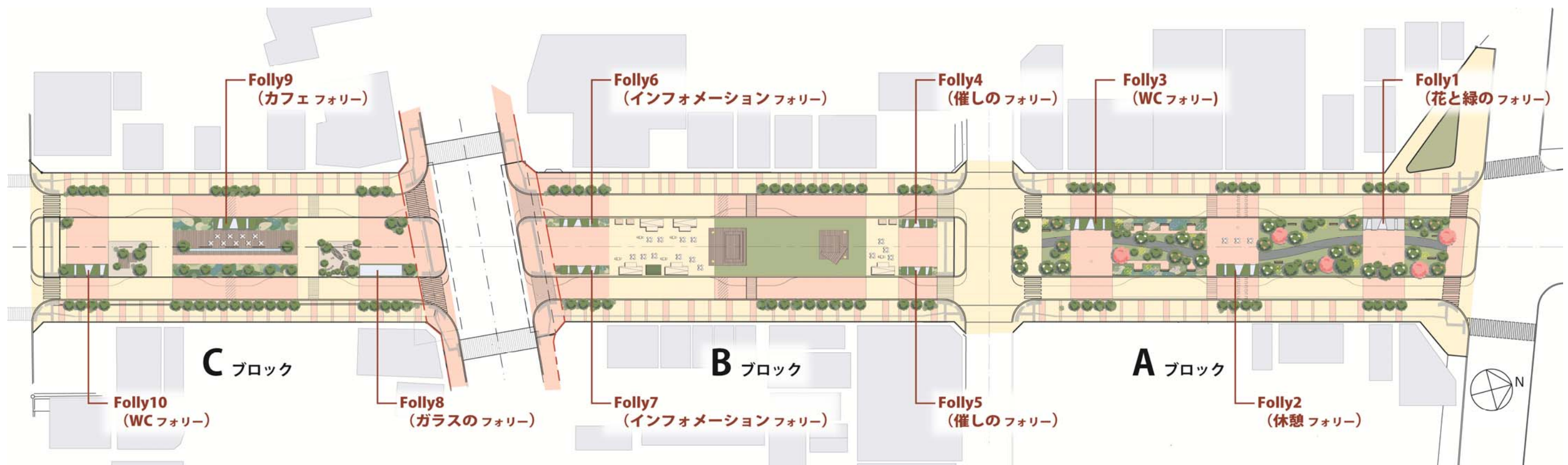
【Bブロック】催しの舞台

- ・ 日常時は利用者が滞留しやすい空間として芝生広場を設け、常設のステージは大きなベンチとして利用。
- ・ 周辺の既存店舗や空地利用等との連携を図り、多くの催しが少ない労力で開催しやすい広場を目指す。

【Cブロック】暮らしと遊びのプラザ

- ・ 裸足で安心して遊べる大きなウッドデッキや、冬でも遊べるガラスのフォリー、水路、給排水機能を持つフォリーで構成。
- ・ 子ども達の遊ぶ姿とそれを見守る親、高齢者の姿をテーマとした空間を目指す。

全体計画図



C ブロック 暮らしと遊びのプラザ

- ・裸足で安心して遊べる大きなウッドデッキや、冬でも遊べるガラスのフォリー、水路、給排水機能を持つフォリーで構成。
- ・子ども達の遊ぶ姿とそれを見守る親、高齢者の姿をテーマとした空間を目指す。

B ブロック 催しの舞台

- ・日常時は利用者が滞留しやすい空間として芝生広場を設け、常設のステージは大きなベンチとして利用。
- ・周辺の既存店舗や空地利用等との連携を図り、多くの催しが少ない労力で開催しやすい広場を目指す。

A ブロック 花とみどりと森

- ・樹木や宿根草による緑の構成で、地域の魅力が通年連続する〈花〉の仕掛け。
- ・地域の高齢者や家族連れが日だまりや緑陰でゆったりと過ごすことのできる空間づくりを目指す。

4-3 3ブロック全体の共通デザイン

はこだてグリーンプラザ全体の一体感を持ちつつ、各ブロックの特徴的な機能と役割を引き立たせる「フォリー」、壁面緑化・宿根草ガーデン等の「緑のランドスケープ」、夜間の魅力を生み出す「光のランドスケープ」、グリーンプラザとその周辺を繋げる「舗装計画」について、共通のデザインコードを設定し、市民と来訪者がここで過ごしたくなる新たな潤いの魅力と特色づくりを行います。

(1) フォリー※1

フォリーは、はこだてグリーンプラザで心地よく過ごす機能であるとともに、3つのブロックを空間的に一体化し、より魅力的な空間となる仕掛けを持ちます。

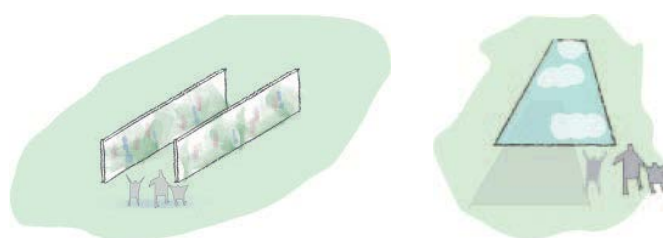
昼間は、デザイン性の高い風景として、また、緑の演出の舞台として、夜間には、光の演出の装置として、はこだてグリーンプラザという唯一無二の空間を作り出す大切な要素となります。

※1 フォリーとは、18世紀のイギリス式庭園やフランス式庭園などにみられる装飾用の建物。庭園や公園内の自由な建物という意味から様々な活動の拠点となる施設という意味にも用いられています。

【フォリーのデザイン】

- ・フォリーは共通するデザインコードで設置し、壁面緑化等、立体的な緑のボリュームを創る工夫を施します。
- ・周囲の環境を写し込み新たな景観を街へ映し出す装置となるような屋根（ステンレス等の金属材料）とします。

※各ブロックの街路樹は、3ブロックの連続性と、フォリーの背景を創る役割を担います。



【フォリーの配置】

本整備基本計画におけるフォリーは、3つのブロックの魅力を引き出すための7つの機能を10カ所に配置します。

＜フォリーの機能＞

No.	名称	機能
Folly 1	花と緑のフォリー	花と緑の管理，活動のための拠点機能。
Folly 2	休憩フォリー	子どもや高齢者の休憩，雨宿りスペース。
Folly 3, 10	WCフォリー	トイレ機能。既存のトイレと同程度の規模のトイレをA，Cブロックに配置する。
Folly 4, 5	催しのフォリー	催しを補完するための倉庫機能。
Folly 6, 7	インフォメーションフォリー	地域のインフォメーション機能，休憩，雨宿りスペース，wifiスポット拠点。
Folly 8	ガラスのフォリー	子どもを始め，観光客や大人も関心を持つ遊具を設置。 子どもや高齢者の休憩，雨宿りスペース。
Folly 9	テラスフォリー	ウッドデッキで遊ぶ子どもを見守る休憩フォリー。

(2) 緑のランドスケープ

① マグノリア※²の森

- ・ここでしか味わえない，北海道でいち早く開花する春一番のマグノリアによる「新しい」見事な花ざかりを演出します。
- ・既存の桜類は継承しつつ，他の樹種（ヤマモミジ等）も一部継承します。

※2 マグノリアとは，モクレンやコブシ等，およそ210種のモクレン目モクレン科の属の総称です。分布は，交配種が観賞用樹木として北米，ヨーロッパ，オーストラリア，ニュージーランドで植栽され，白・黄色・ピンク・赤など大きな花の色彩も様々です。分布域的に，6つの姉妹都市，友好交流都市でも，それぞれのマグノリア類が分布していると推察されます。（コブシ，タイサンボク，ホオノキ，モクレン 他）



②四季折々の花

- ・フォーリーと一体的な彩りの緑を多様な形で創出するため、フォーリーには、クレマチス※³による壁面緑化や可動植込(ハンギング・可動マス)を導入します。
- ・彩りのパッチ(宿根草※⁴のミニガーデン)をフォーリーと一体的に演出するとともに、こだてグリーンプラザの魅力を持続させるため、宿根草のボーダーガーデンを設置します。また、多種の宿根草の構成で、春から秋までの長い期間花と緑の魅力を持続させます。
- ・市民団体や沿道住民と持続的な維持管理や普及啓発・交流を展開します。

※3 クレマチスとは、ハンショウズル、テッセン、ハンショウズル、モンタナ、センニンソウ、ボタンズル等日本にルーツを持つ植物です。

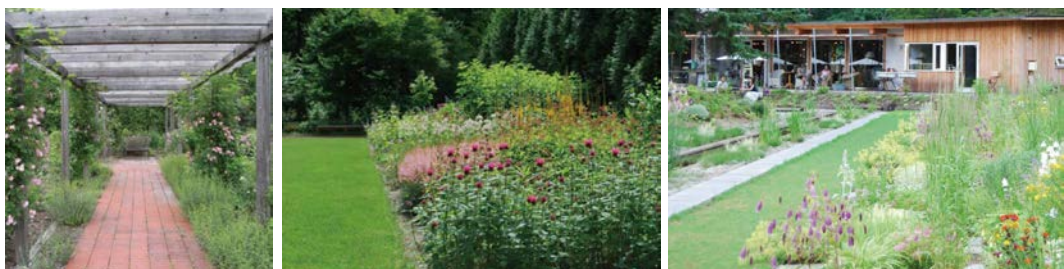
花の形、花の色、葉の形態等、種類により様々に変化し、多様な魅力を持っています。



※4 宿根草とは、春芽つき、花をつけ、秋には枯れて雪に埋もれ、冬を越し、春にまた芽を出す植物達の総称です。

宿根草の特徴	宿根草の魅力
日本国内でも気象条件などによって利用できる種類が変わります。	● 地域性が生まれ、個性豊かなまちづくりが可能になります。
環境にあったものを一度植えると数年は楽しむことができます。	● 栽培に手間がかからず、長い目で見ると維持コストが軽減されます。 ● 花の咲いている期間が短く、開花時期が異なるため季節感を演出できます。 ● 株分けや挿し木で増やせるものが多く、友人や地域に広げることができます。
花の種類によって、花期や背丈、色が異なります。	● 春から秋にかけて様々な植物が次から次へと主役を変える、変化に富んだ植物の世界を創ることができます。

函館ならではの宿根草の世界をつくりだします



③新しい防火帯としての魅力づくり

- ・防火帯の「観るシンボル」から「過ごすシンボル」としての緑に転換し、防火帯の線のネットワークを面として、緑の広がりを演出します。

(3) 光のランドスケープ

フォリーや大きなベンチステージ、水路等工作物、ライトピラー、樹木等による立体的な照明の手法で、はこだてグリーンプラザ全体を演出します。

「光のランドスケープ」で夜間の魅力を生み出し、3つのブロックの連続性を持たせ、歩きたくなる、写真を撮りたくなる空間とします。

①新しく函館の夜の風景として加わる魅力的な夜の雰囲気

- ・ここに来たいと思う、函館駅前・大門地区の夜のまちの魅力をつくります。
- ・フォリーからガラス越しに立体的な光を演出するほか、新しい函館夜景の創出となる「ライトピラー」等を導入します。
- ・白夜祭等、光のイベント会場として利用できます。
- ・点灯時間や期間、色の設定等により定期的に光が変化する仕掛けをします。

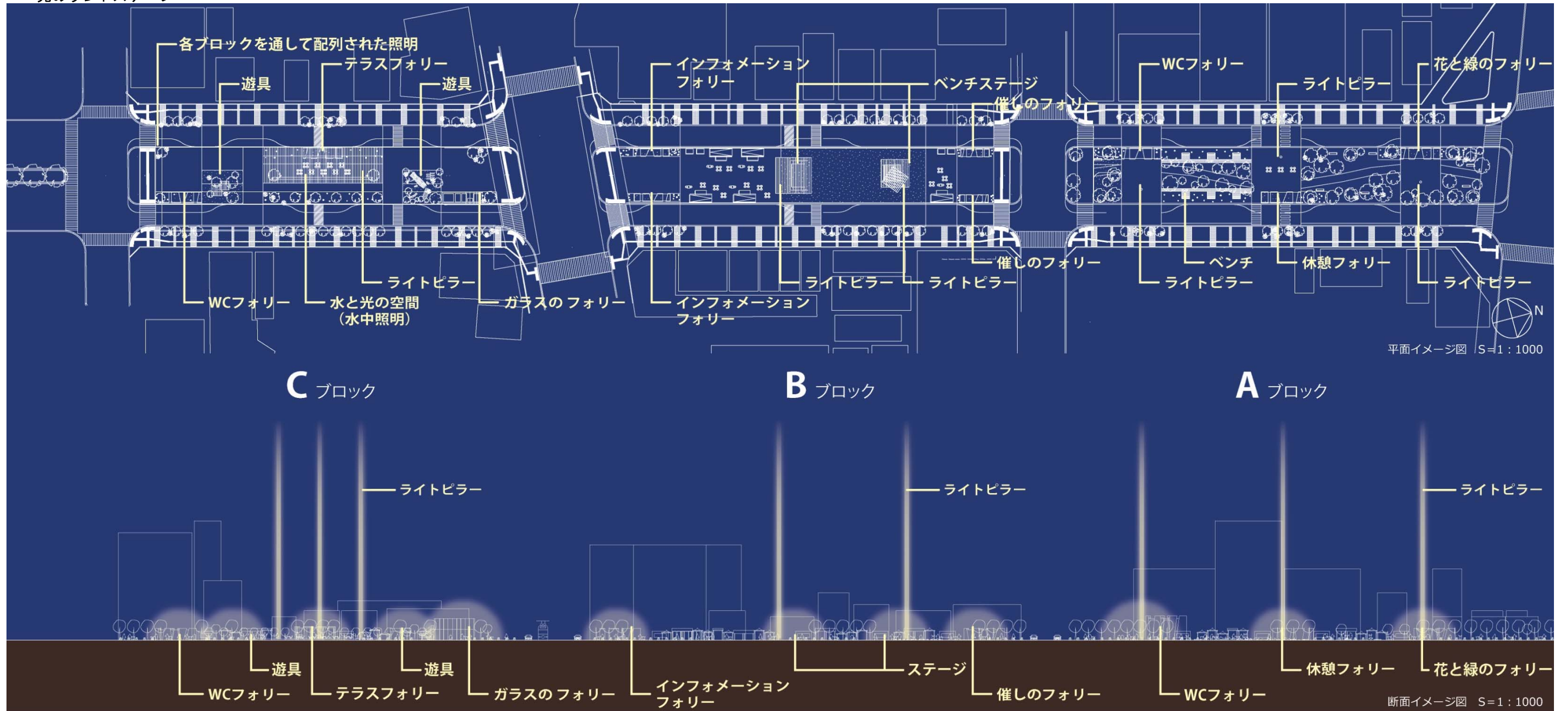
②函館駅前・大門地区の利用者にとって安全・安心感のある空間づくり

- ・光の演出に必要な照度分布を計画し、照明柱等により夜間でも安全に歩行できる空間とするため、ベンチステージやウッドデッキ等、人が滞在する場所へ光を演出（ライン照明、アップ照明、樹木へのライトアップ、水路越しの照明）します。
- ・はこだてグリーンプラザ全体の照度を補完する街路灯のリニューアル化（LED化）も検討します。

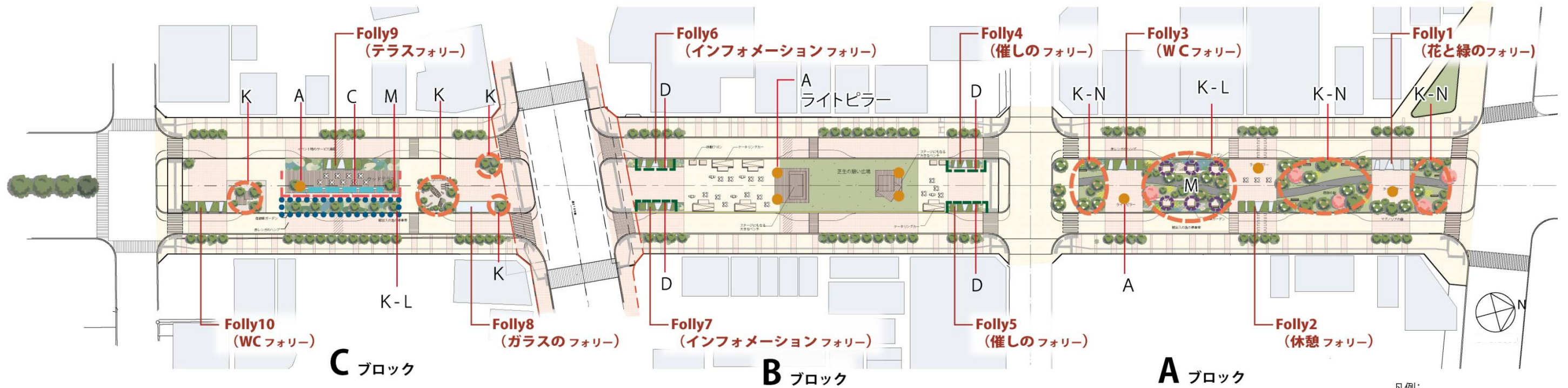
③函館の街全体の中のはこだてグリーンプラザとしての光の連続性










- ・フォリーの配置は、緑の配置によるリズムを持たせると共に、はこだてグリーンプラザ全体の光の連続性を持たせる役割を担います。

光のランドスケープ



<p>A B* ロックイベント LED500w 1950000 ビーム角15度・20度・30度・45度高輝度光源装置</p>  <p>5台 LED500w LEDランプ寸法323 x 393 x 412 (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7*ミダ*キャストシルバー-塗装 色温度 (K) 5700K 消費電力: 500W 鋼板シルバー-塗装 強化ガラス透明 323 x 393 x 412 (mm) 電源装置出力 AC100V 220 ~ 240 Vac 	<p>B 導線機種 LED13.5w 100000</p>  <p>44台</p> <ul style="list-style-type: none"> SUS塗装 色温度 (K) 3000K 消費電力: 26w x 1 鋼板シルバー-塗装 強化ガラス透明 巾φ207 埋込高・240 フェイス・φ207mm 938lm LED電源装置内蔵 AC100V&200V 	<p>C 水中照明 LED 13Wタイプ x 1 (3000K) 97.5</p>  <p>32台 81000</p> <ul style="list-style-type: none"> SUS塗装 色温度 (K) 3000K 消費電力: 13w x 1 質量1.6kg 本体ステンレス前面ガラス: 強化ガラス 巾φ130奥3埋込89mm 410Lm LED電源装置内蔵 AC100V&200V 	<p>D オールオツシャー 300m LED 1.8Wタイプ x 1 (3000K) 25000/m</p>  <p>300m</p> <ul style="list-style-type: none"> オールオツシャー 色温度 (K) 3000K 消費電力: 1.8w x 1 質量630g 7*ミダ*キャスト 巾φ35高さ18mm AC12V LED電源装置内蔵 ランプ間隔75mm 	<p>E Folly 4-5-6-7 LED 225w x 1灯 調光可能 間接照明</p>  <p>LED 225w x 1灯 調光可能 間接照明</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費電力: 22.5W/灯 調光可能タイプ 鋼板 白色塗装 電源ユニット内蔵 巾31.4長1196高39mm 全高束 2278Lm 重量: 660g 色温度2700K 	<p>F LED5w x 1 12400 照明器具</p>  <p>LED5w x 1 12400 照明器具</p> <ul style="list-style-type: none"> LED5.2w x 1 色温度 (K) 2800K LED電源内蔵型 取付パネル SUS 7*ミダ*キャスト 7*ミダ*キャスト 重: 0.6kg 高116巾110奥134mm 演色評価数 (Ra) 85 内面 (ホワイト仕上げ) 	<p>G LED11w x 1 6800 照明器具</p>  <p>LED11w x 1 6800 照明器具</p> <ul style="list-style-type: none"> LED11w x 1 色温度 (K) 2800K LED電源内蔵型 取付パネル SUS 7*ミダ*キャスト 7*ミダ*キャスト 重: 0.6kg 径111埋込穴100 高さ80 (mm) 内面 (白色仕上げ) 	<p>H LED9.5w x 1 16800 照明器具</p>  <p>LED9.5w x 1 16800 照明器具</p> <ul style="list-style-type: none"> LED9.5w x 1 色温度 (K) 2700K LED電源内蔵型 強化ガラス透明 7*ミダ*キャスト黒サテライト塗装 7*ミダ*キャスト 重量1.1kg 径75長さ135出170mm) 演色評価数 (Ra) 85
--	--	---	---	---	---	--	---



<p>J A* ロック花とみどり森 ライトピラー 5700K 3台 3000000 ビーム角15度・20度・30度・45度高輝度光源装置</p>  <p>3台 3000000 LED26w</p> <ul style="list-style-type: none"> 7*ミダ*キャストシルバー-塗装 色温度 (K) 5700K 消費電力: 1000w x 1 鋼板シルバー-塗装 強化ガラス透明 323 x 632 x 428 (mm) 電源装置出力 AC100V 220 ~ 240 Vac 	<p>K ライトアップ用機種 LED26w 36000</p>  <p>70台</p> <ul style="list-style-type: none"> 7*ミダ*キャストシルバー-塗装 色温度 (K) 3000K 消費電力: 26w x 1 鋼板シルバー-塗装 強化ガラス透明 巾125高221出221mm 1450Lm LED電源装置内蔵 AC100V&200V 	<p>L LED9.5w 25800</p>  <p>50台</p> <ul style="list-style-type: none"> 7*ミダ*キャストシルバー-塗装 色温度 (K) 2700K 消費電力: 9.5w x 1 鋼板シルバー-塗装 強化ガラス透明 巾75高134出206mm 410Lm LED電源装置内蔵 AC100V&200V 	<p>M ペンテ間接照明 LED 1.8Wタイプ x 1 (3000K) 25000/m</p>  <p>250m</p> <ul style="list-style-type: none"> 7*ミダ*キャスト 色温度 (K) 2700K 消費電力: 6.4w/m リード線=AWG18 x 4 防水仕様 巾18厚さ8.2mm x ヅ100mm m140g LED電源装置 AC100V&200V 	<p>N ポラードポール灯 LED7.7w x 1 45台</p>  <p>LED7.7w x 1 45台</p> <ul style="list-style-type: none"> LED7.7w x 1 本体: 7*ミダ*キャスト 下地処理7*ミダ*キャスト 支柱: 7*ミダ*キャスト 全長・925 巾・φ122 巾18厚さ8.2mm x ヅ100mm グループ: 乳白ガラス 下地処理7*ミダ*キャスト 	<p>E Folly 1-2-3 LED 225w x 1灯 調光可能 間接照明</p>  <p>LED 225w x 1灯 調光可能 間接照明</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費電力: 22.5W/灯 調光可能タイプ 鋼板 白色塗装 電源ユニット内蔵 巾31.4長1196高39mm 全高束 2278Lm 重量: 660g 色温度2700K 	<p>F LED5w x 1 12400 照明器具</p>  <p>LED5w x 1 12400 照明器具</p> <ul style="list-style-type: none"> LED5.2w x 1 色温度 (K) 2800K LED電源内蔵型 取付パネル SUS 7*ミダ*キャスト 7*ミダ*キャスト 重: 0.6kg 高116巾110奥134mm 演色評価数 (Ra) 85 内面 (ホワイト仕上げ) 	<p>G LED11w x 1 6800 照明器具</p>  <p>LED11w x 1 6800 照明器具</p> <ul style="list-style-type: none"> LED11w x 1 色温度 (K) 2800K LED電源内蔵型 取付パネル SUS 7*ミダ*キャスト 7*ミダ*キャスト 重: 0.6kg 径111埋込穴100 高さ80 (mm) 内面 (白色仕上げ) 	<p>H LED9.5w x 1 16800 照明器具</p>  <p>LED9.5w x 1 16800 照明器具</p> <ul style="list-style-type: none"> LED9.5w x 1 色温度 (K) 2700K LED電源内蔵型 強化ガラス透明 7*ミダ*キャスト黒サテライト塗装 7*ミダ*キャスト 重量1.1kg 径75長さ135出170mm) 演色評価数 (Ra) 85
---	--	---	--	--	---	---	--	---

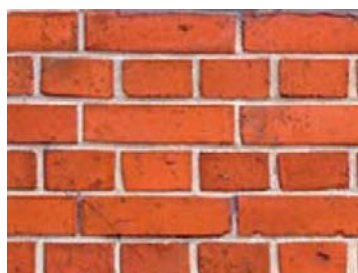
(4) 舗装計画

- ・はこだてグリーンプラザ全体の広場としての連続性，一体感のある仕上げとして，はこだてグリーンプラザ内の舗装と市道広小路の車道および歩道の舗装を統一して構成します。
- ・舗装材の色分けなどで，視覚的に空間を分けることによりリズム感が生まれ，歩く楽しさを演出するとともに，車道ではスピードの抑制効果を狙います。
- ・車道に使用する材料は，滑りづらい加工を施した上で，大型車両の通行に耐えられる構造とします。

<仕上げイメージの一例>



黄色レンガ



赤レンガ

4-4 機能配置計画（ゾーニングおよび機能配置の設定）

4-4-1 Aブロック 花とみどりと森

（1）整備テーマ

- ・樹木や宿根草による緑の構成で、地域の魅力が通年連続する〈花〉の仕掛け。
- ・地域の高齢者や家族連れが日だまりや緑陰でゆったりと過ごすことのできる空間づくりを目指す。

（2）整備する機能

①フォリー

- ・フォリーは3種類を整備します。
- ・花と緑の管理・活動のための拠点、休憩用、トイレの3つを整備します。

②マグノリアの森

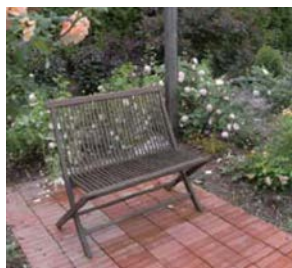
- ・マグノリアを中心に森をイメージして整備し、桜の季節の前に咲く春一番の花の見所として演出し、広くアピールします。さらに、桜の季節になると、多くの市民、観光客が函館を楽しむ中で、異なる魅力の花木の空間を演出します。
- ・道内種キタコブシを軸に、6つの姉妹都市、友好交流都市のモクレンを植栽し、函館ならではの特色を出します。また、連続した季節の魅力を生み出すため、花木を多種導入するよう検討します。(キタコブシの花言葉は「友情」)
- ・既存の樹木については、選別し再配置するなど検討します。

③街路樹

- ・街路樹は、フォリーの背景となる緑のボリュームを強化する施設帯に、ハクウンボクやトキノキ等樹種を良く吟味して、バランスよく連続植栽を施します。

④ベンチ

- ・Aブロックには、デザイン性の高い、何となく座ってみたくなるようなベンチ等を用意し、日だまりや緑陰のベンチで快い時間を過ごせ、訪れる人の「お気に入りの場所」を創れる空間とします。



ベンチのイメージ

⑤空間の魅力を高める仕掛け

- ・ハンギングバスケットなどをフォリーの壁面に設置するにあたって、定期的にハンギングバスケット教室や北国の庭づくりの講演会を開催し、市民や観光客が気軽に自分の庭を造る体験ができる場を目指します。
- ・宿根草ガーデンは、人気のシェアガーデンの発想を生かした取り組みを進め、春から秋にかけては、花のマルシェを開催するなど、宿根草、1年草の販売などにより、街全体でガーデン造りを楽しめる場を目指します。

こうした取り組みにより、市民や観光客が気軽に楽しめる場づくりから、地域のまちづくりの発信基地となるような取り組みになることを期待しています。



花のマルシェのイメージ

(3) フォリーの建築計画

Aブロック	花と緑のフォリー	3m×10m 2階建て×1か所
概要 (コンセプト)	花と緑の管理、活動のための拠点機能。 春先の温室として花苗の育成、保管場所としても活用できます。	
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・植物手入れ道具の収納 ・着替えスペース ・花苗の育苗 ・レクチャスペース ・備品倉庫機能 ・電力、給排水機能 	

2階平面図

グリーンプラザ全体の備品を収納するスペース

休憩や教室等に活用できる。花苗の育苗スペースとしても利用。

倉庫

多目的スペース

手入れの道具庫として、また、着替えスペースや倉庫としての機能を有する。

1階平面図

道路側

グリーンプラザ側

多目的スペース

倉庫

アイソメトリックイメージ

ハンギングバスケット教室や講演会を開いたりできるスペース。出来上がったハンギングバスケットはフォリーを彩る。

強化ガラス

屋根：ウレタンゴム系塗膜防水

外壁：コンクリート化粧打放し 浸透性撥水剤塗布

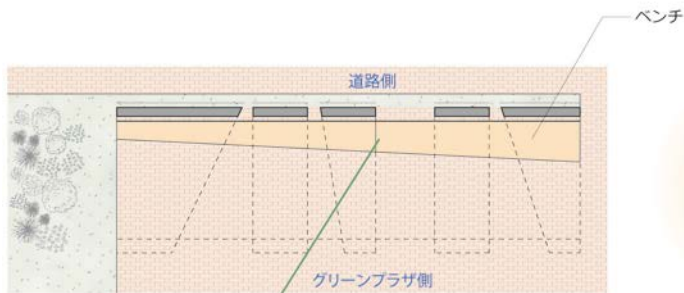
ステンレス平葺 粘接着工法

グリーンプラザ側姿図

外壁：ワイヤーマッシュ 溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理加工 コンクリート化粧打放し 浸透性撥水剤塗布

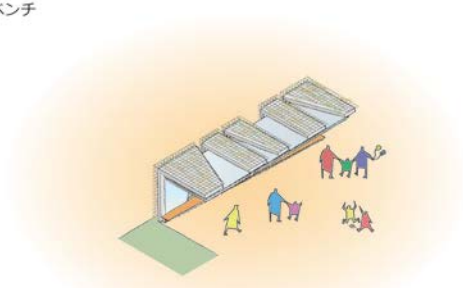
側面姿図

Aブロック	休憩フォリー	3m×10m 平屋×1か所
概要 (コンセプト)	屋根のついた屋外空間としての緑のフォリー。 子ども達や高齢者の休憩、雨宿りができる空間とし、また、花のマルシェ等小さなイベントのきっかけとなるスペースとします。	
主な機能	・ベンチ	

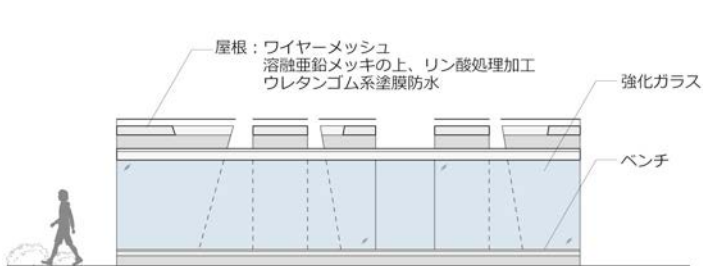


子ども達や高齢者の
雨宿りの場となる。

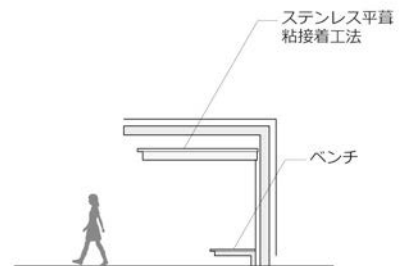
平面図



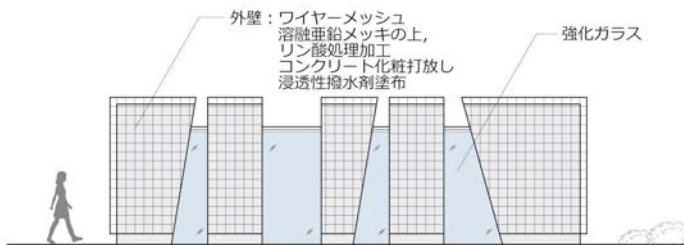
アイソメトリックイメージ



グリーンプラザ側姿図



側面姿図



道路側姿図

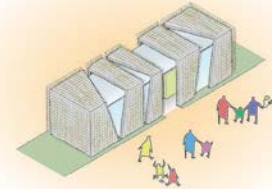


側面姿図

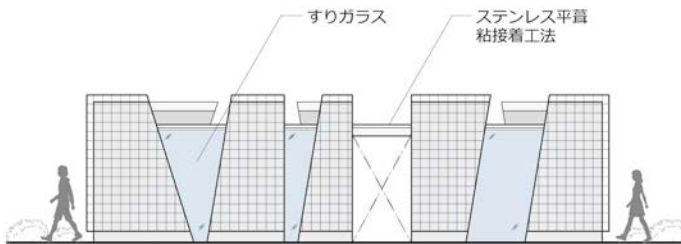
Aブロック	WCフォリー	3m×11m 平屋×1か所
概要 (コンセプト)	これまでCブロックに設置されていた既存のトイレと同等の規模のトイレをAブロックに設置し、国道を横断することなく利用できる配置とします。	
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・女子トイレ 大便器2ヶ, 手洗い器2ヶ ・男子トイレ 大便器1ヶ, 小便器3ヶ, 手洗い器2ヶ ・多目的トイレ 手摺付大便器1ヶ, 手洗い器, ベビーベッド ・共用部 清掃用流し台 ・電力, 給排水機能 	



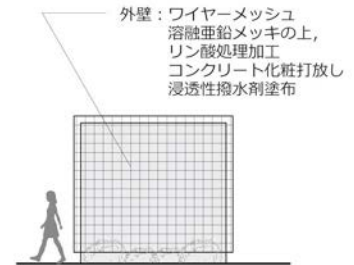
平面図



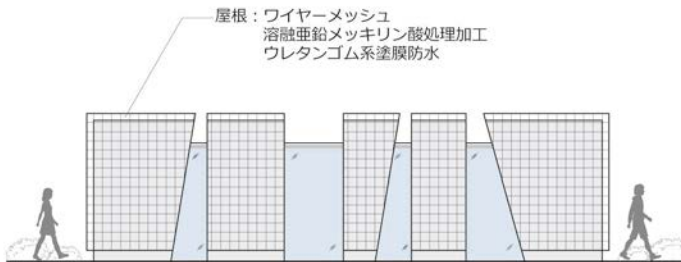
アイソメトリックイメージ



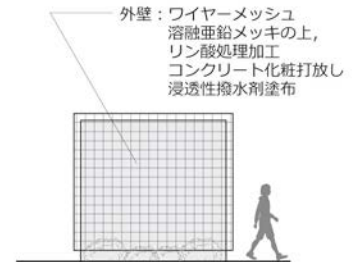
グリーンプラザ側姿図



側面姿図



道路側姿図



側面姿図

A ブロック 花とみどりと森

- ・樹木や宿根草による緑の構成で、地域の魅力が通年連続する〈花〉の仕掛け。
- ・地域の高齢者や家族連れが日だまりや緑陰でゆったりと過ごすことのできる空間づくりを目指す。



4-4-2 Bブロック 催しの舞台

(1) 整備テーマ

- ・日常時は利用者が滞留しやすい空間として芝生広場を設け、常設のステージは大きなベンチとして利用する。
- ・周辺の既存店舗や空地利用等との連携を図り、多くの催しが少ない労力で開催しやすい広場を目指す。

(2) 整備する機能

①フォリー

- ・フォリーは2種類を整備します。
- ・イベント時に使用する備品などを収納する倉庫機能を持ったもの、インフォメーション機能や休憩などのほか、日よけ雨よけとなるフォリーをそれぞれ2つずつ整備します。

②芝生の憩いの広場

- ・Bブロックの中で最も大切な要素となるのが芝生広場です。芝生に座ったり寝転んだりくつろげる空間として確保します。
- ・夏季の放射熱を軽減することができる広場となることから、子どもの遊び場となるほか、ストレッチやヨガ教室など幅広い用途で活用できます。



※イベント時の芝生の養生

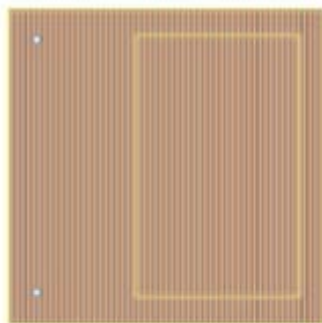
短期期間で運営されるイベント時は、イベントに必要な設備の搬出入や、テント、機材の配置等、芝生面も含めて利用することを想定していますが、そうした場合、芝生が生きる為に必要な「光」、「水」、「空気」を適度に保つ必要があることから、芝生へのダメージを軽減する能力を持ち、高い安定性、保護能力のある養生材を備品として備える必要があります。

③ 2つの大きなベンチステージ

- ・役割の異なるステップのある2つの大きなベンチステージを芝生の中に配置し、利用者が滞留しやすい空間とします。(整形のベンチステージ (大), 形に特徴をもったベンチステージ (小))
- ・大きなベンチステージは、イベント時にはステージとなり、大小様々な催しに対応するとともに、移動も可能となるような構造を検討します。(音楽イベント・ロケーションフォト、演劇の舞台等)



<大きな>ベンチステージ



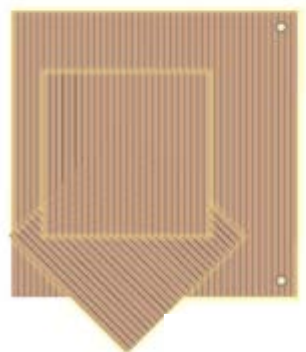
ベンチステージ (大) 平面図

ステージ, ベンチ
または観客席にもなる。



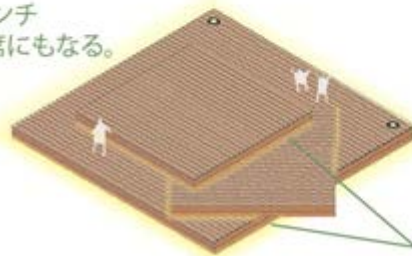
ステージ下,
スリット照明

ベンチステージ (大) アイソメトリックイメージ



ベンチステージ (小) 平面図

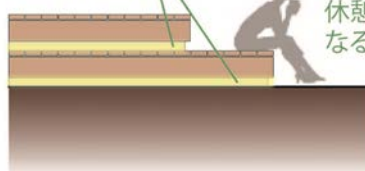
ステージ, ベンチ
または観客席にもなる。



ステージ下,
スリット照明

ベンチステージ (小) アイソメトリックイメージ

ステージ下,
スリット照明



座ることも
できる高さで,
休憩の場所にも
なる。

断面イメージ

④停車エリア

- ・日常的に移動販売車が集まる停車エリアを設け、移動カフェ、自由市場との連携による食の屋台、小さな移動図書館など、広場に人を集めるツールとして機能できるエリアを整備します。



⑤街路樹

- ・街路樹は、フォリーの背景となる緑のボリュームを強化する施設帯に、ハクウンボクやトキノキ等樹種を良く吟味して、バランスよく連続植栽します。

⑥空間の魅力を高める仕掛け

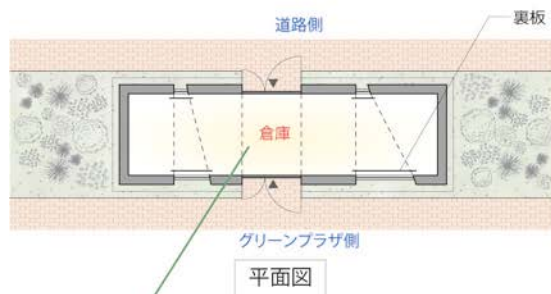
- ・イベント時に仮設し、ショップやバー等多様な機能に対応が可能となるデザイン性に優れたキャビンの導入を検討します。キャビンは、容易に分解・組立ができ、日常時はフォリーに収納可能なものとしします。



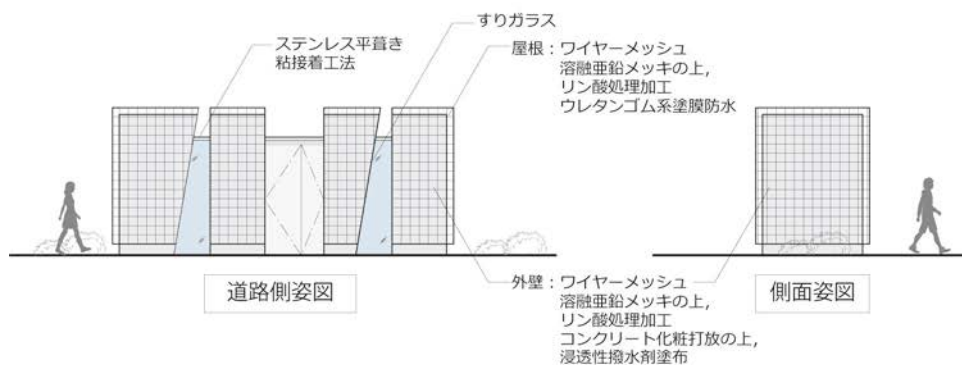
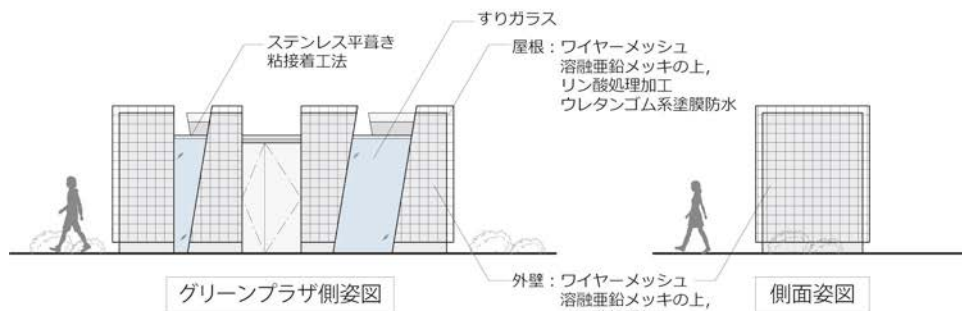
- ・函館駅前通に面したBブロックは、向かい側のCブロックとも連動した様々なアイテム（ベンチステージ、フォリー、遊具など）を活用し、光やAR（拡張現実）など積極的に活用し、ここにしかできない演出効果を目指します。

(3) フォリーの建築計画

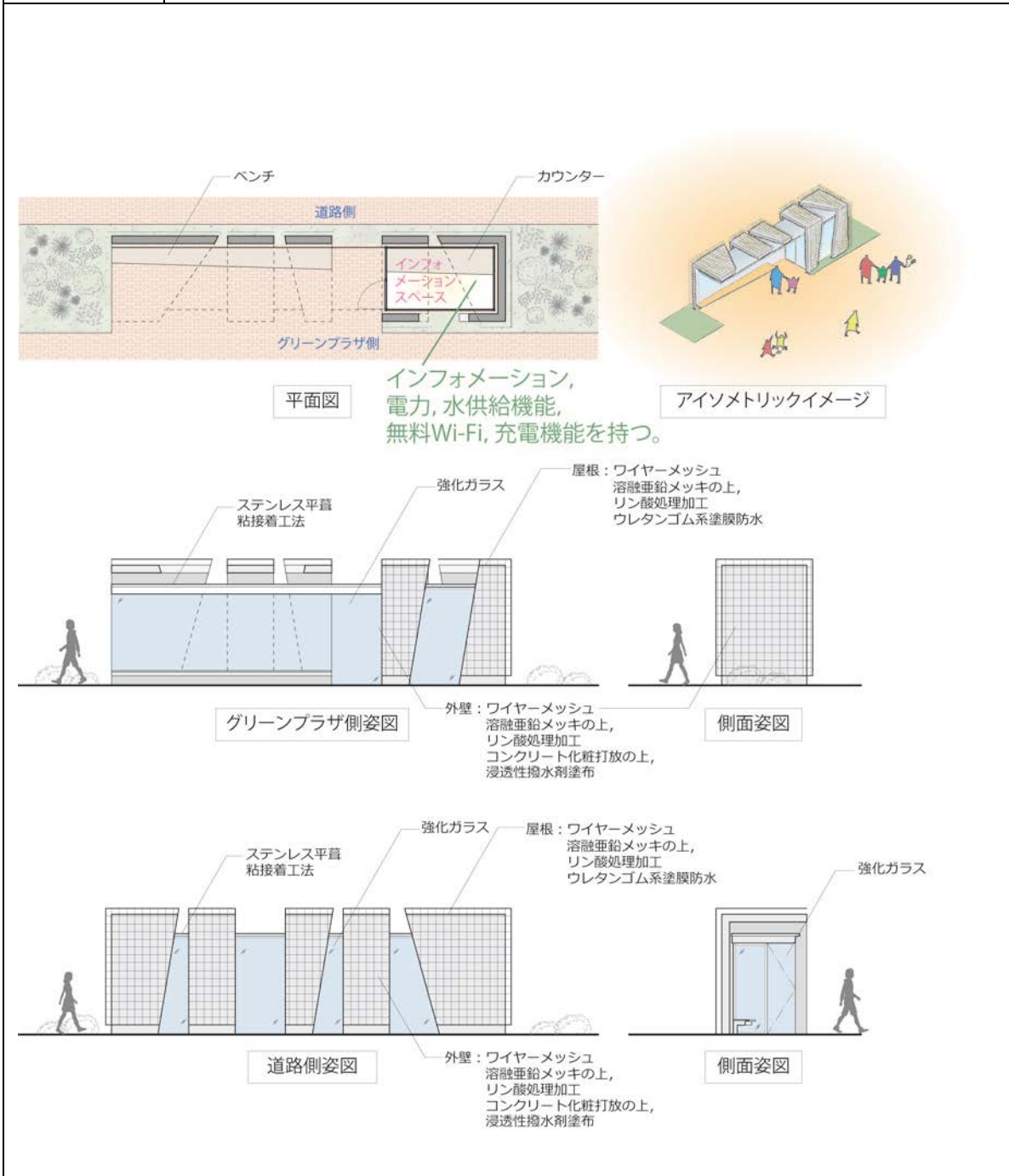
Bブロック	催しのフォリー	3m×10m 平屋×2か所
概要 (コンセプト)	2つの催しのフォリーはイベント時の備品、機材などの収納場所として配置し、Cブロックにある既存の倉庫機能のおおよそ1.5倍となる収納量を持つものとしします。また、給排水機能を備え、イベントの運営を補完する機能を持ちます。	
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント時の機材などの倉庫 ・ 電力、給排水機能 	



イベント時の機材等の
収納場所となる。

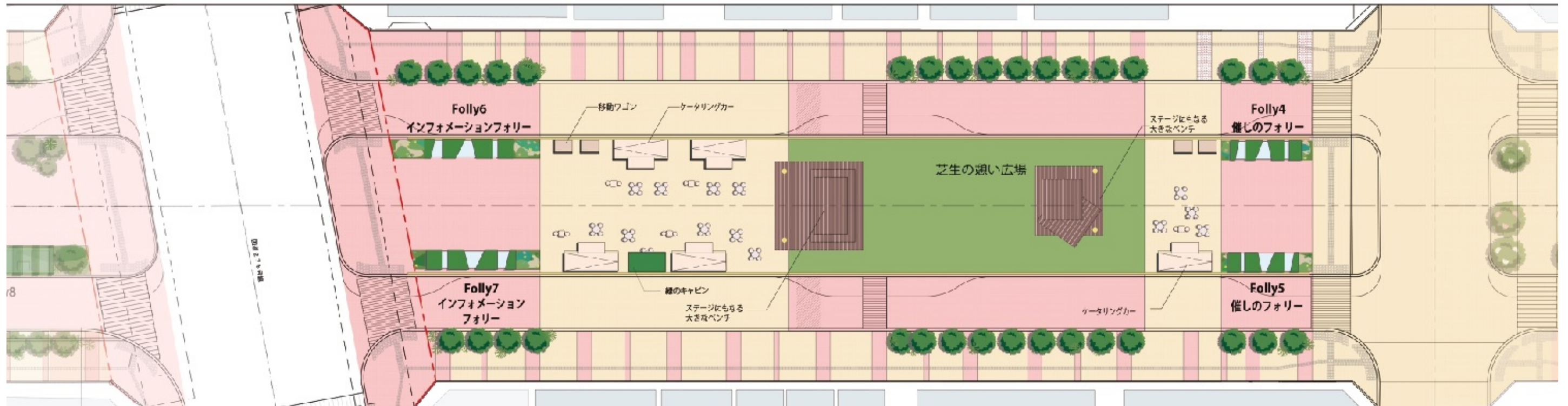


Bブロック	インフォメーションフォリー	3m×10m 平屋×2か所
概要 (コンセプト)	<p>国道側からのウェルカムゲートとしての仕掛けを持つ対になったフォリー。</p> <p>半屋外空間として広場と一体的に利用し、休憩所、雨などからの避難所としての役割を持ちます。</p>	
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーション機能 ・無料Wi-Fi, 充電機能 ・ベンチ (休憩スペース) ・電力, 給水機能 	



B ブロック 催しの舞台

- ・ 日常時は利用者が滞留しやすい空間として芝生広場を設け、常設のステージは大きなベンチとして利用。
- ・ 周辺の既存店舗や空地利用等との連携を図り、多くの催しが少ない労力で開催しやすい広場を目指す。



4-4-3 Cブロック 暮らしと遊びのプラザ

(1) 整備テーマ

- ・裸足で安心して遊べる大きなウッドデッキや、冬でも遊べるガラスのフォリー、水路、給排水機能を持つフォリーで構成。
- ・子ども達の遊ぶ姿とそれを見守る親、高齢者の姿をテーマとした空間を目指す。

(2) 整備する機能

①フォリー

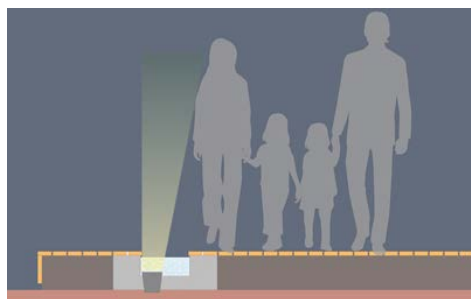
- ・フォリーは3種類を整備します。
- ・デザイン性に優れた遊具を配するガラスのフォリー、ウッドデッキで遊ぶ姿を見守るフォリー、トイレの3つを整備します。

②ウッドデッキ

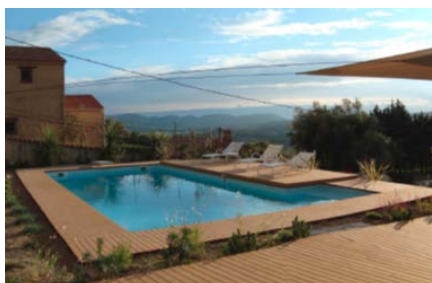
- ・テラスフォリーの前面に子ども達が裸足で駆け回ることのできる素材を使用したウッドデッキを設けます。
- ・さらにウッドデッキには、安全な浅いスリット状の水路を設け、水遊びと光の演出の仕掛けを行います。



テラスフォリーとウッドデッキのイメージ



水路のイメージ



ウッドデッキイメージ1



ウッドデッキイメージ2

③森の木製遊具

- ・比較的大きな樹木を植樹するエリアを設け，樹間に木製の遊具またはツリーハウスなどを設置します。

④ウッドチップ

- ・樹木を連続植栽する植樹帯は，ウッドチップで覆い安全で手のかからない仕様とするとともに，木製遊具等の足元も子ども達が安心して遊ぶことのできるウッドチップを厚く敷き込みます。



ウッドチップと遊具エリアのイメージ



ウッドチップ



遊具のイメージ

⑤街路樹

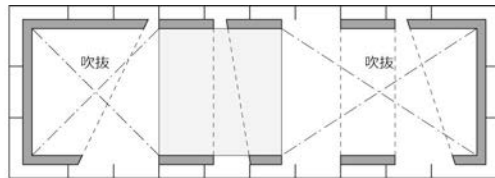
- ・街路樹は，フォリーの背景となる緑のボリュームを強化する施設帯に，ハクウンボクやトチノキ等樹種を良く吟味して，バランスよく連続植栽します。

⑥空間の魅力を高める仕掛け

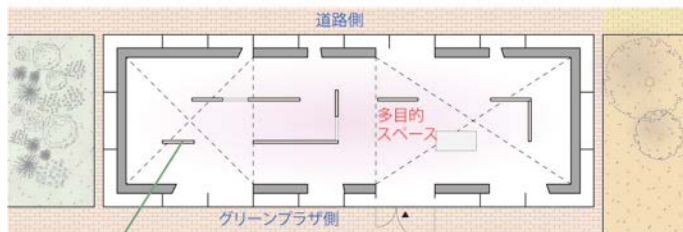
- ・ガラスのフォリーには，子どもから大人までが入ってみたいくなるようなデザイン性の高い遊具を配置するとともに，夜間には水路とガラスのフォリーによる光の演出で美しい空間を作り上げます。

(3) フォリーの建築計画

Cブロック	ガラスのフォリー	3m×10m 平屋×1か所
概要 (コンセプト)	ガラスの箱の中に、子どもを始め、観光客や大人も関心を持つ遊具を設置し、天候、季節に左右されずに楽しめる空間とします。 遊具は滑り台など、安全に配慮したカラフルなもので構成し、休憩所、雨などからの避難所としての役割を持ちます。	
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的スペース ・遊具機能 ・休憩所 ・寒さや雨からの避難場所 ・ベンチ（休憩スペース） 	

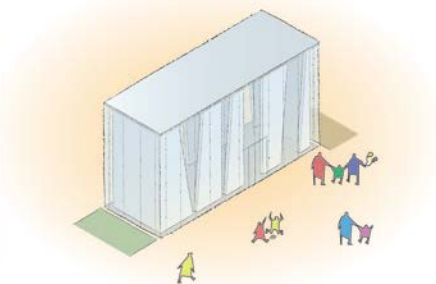


2階平面図

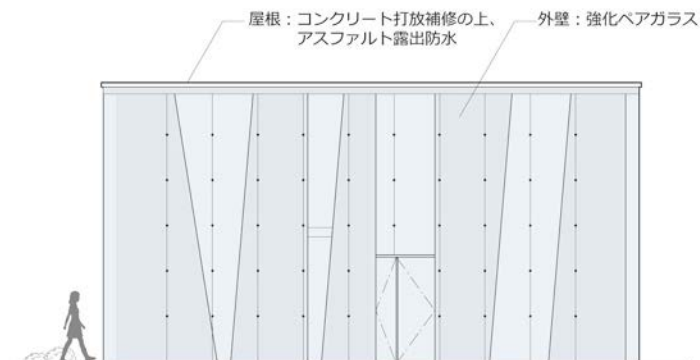


ガラスの箱の中に、大人も子供も関心を持つ遊具を設置する。

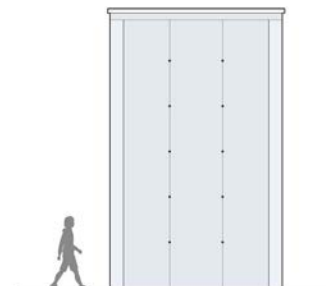
1階平面図



アイソメトリックイメージ

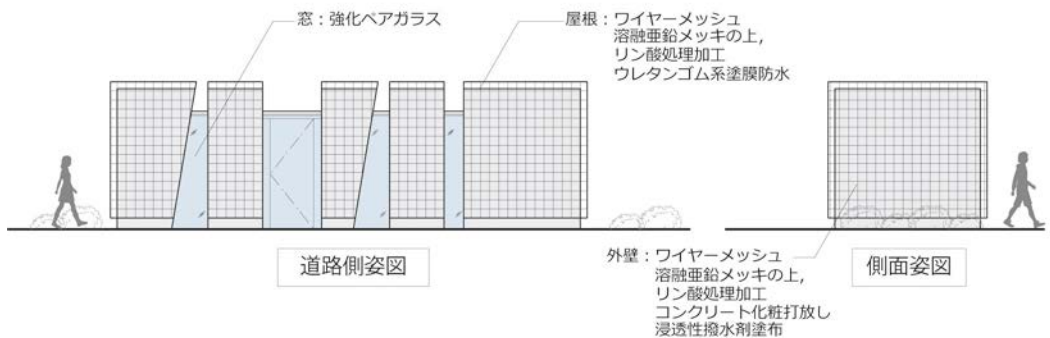
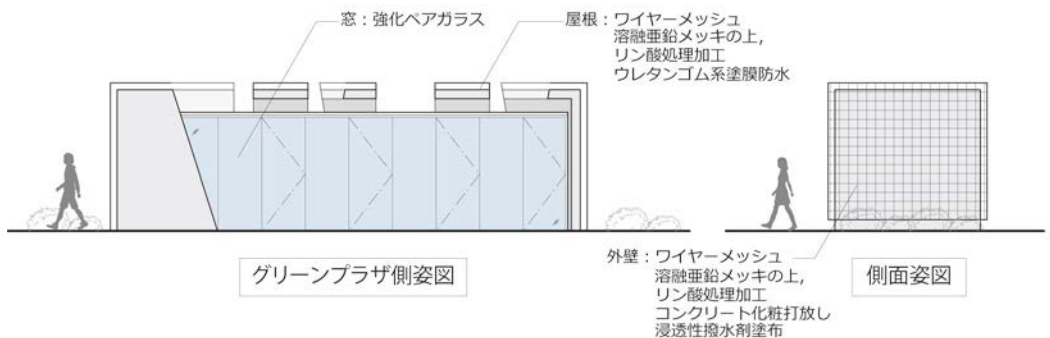
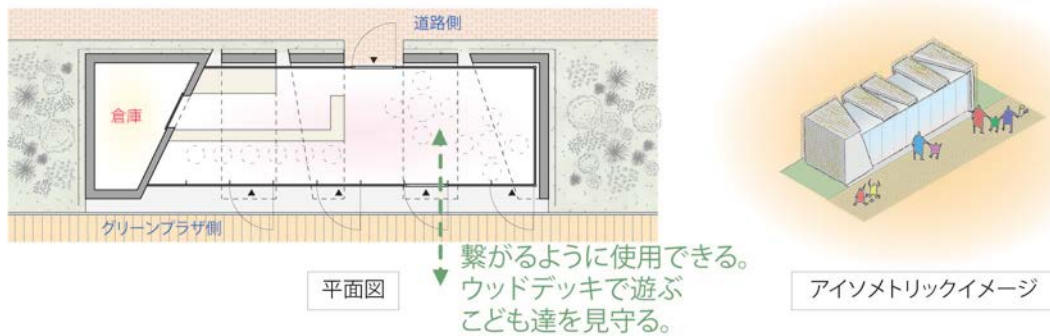


道路側姿図



側面姿図

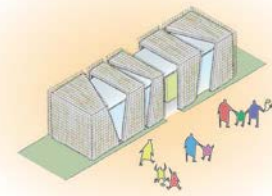
Cブロック	テラスフォリー	3m×10m 平屋×1か所
概要 (コンセプト)	ウッドデッキで遊ぶ子ども達を見守るためのフォリー。 ウッドデッキと一体的に利用し、休憩所、雨などからの避難所としての役割を持ちます。	
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩所、寒さや雨からの避難場所 ・ ベンチ（休憩スペース） ・ 給排水が可能なシンク ・ 電力、給排水機能 ・ Cブロックの倉庫機能 	



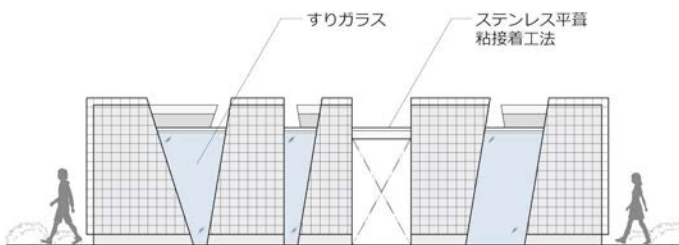
Cブロック	WCフォリー	3m×11m 平屋×1か所
概要 (コンセプト)	これまでCブロックに設置されていた既存のトイレと同等の規模のトイレを設置します。	
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・女子トイレ 大便器2ケ, 手洗い器2ケ ・男子トイレ 大便器1ケ, 小便器3ケ, 手洗い器2ケ ・多目的トイレ 手摺付大便器1ケ, 手洗い器, ベビーベッド ・共用部 清掃用流し台 ・電力, 給排水機能 	



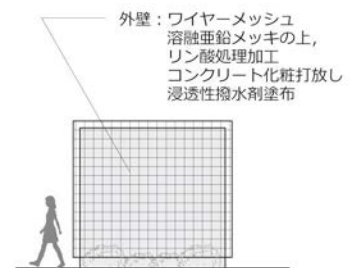
平面図



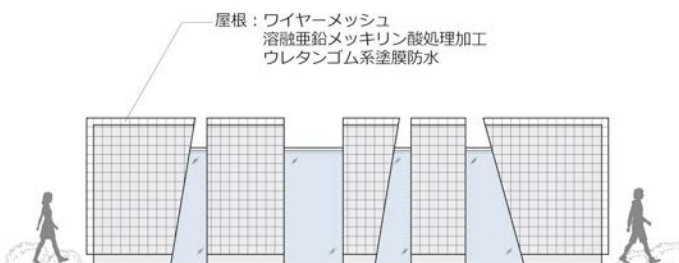
アイソメトリックイメージ



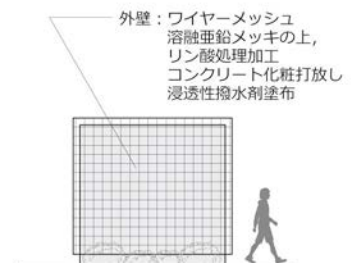
グリーンプラザ側姿図



側面姿図



道路側姿図



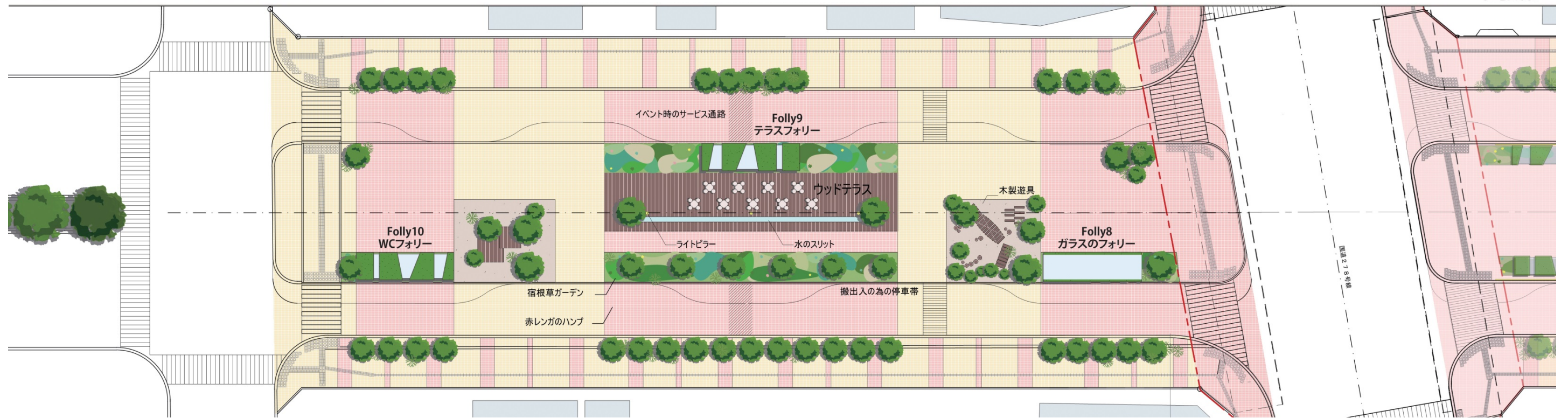
側面姿図

C ブロック 暮らしと遊びのプラザ

- ・裸足で安心して遊べる大きなウッドデッキや、冬でも遊べるガラスのフォリー、水路、給排水機能を持つフォリーで構成。
- ・子ども達の遊ぶ姿とそれを見守る親、高齢者の姿をテーマとした空間を目指す。



S=1:400



4-5 施設計画

(1) 造成および道路計画

①造成計画

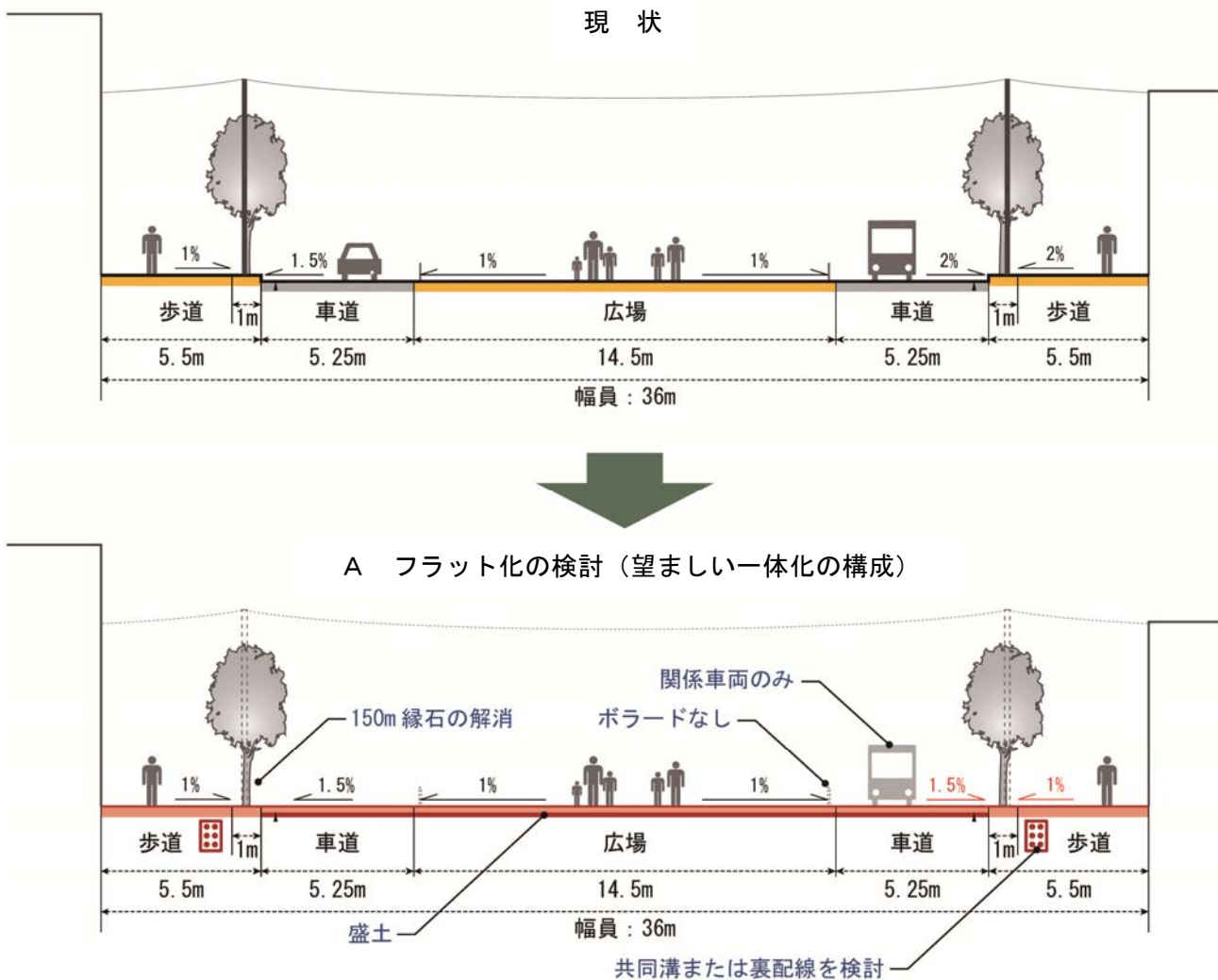
基本的に既存の平坦な地形を踏襲し、大規模な造成は行わないものとします。

②道路計画

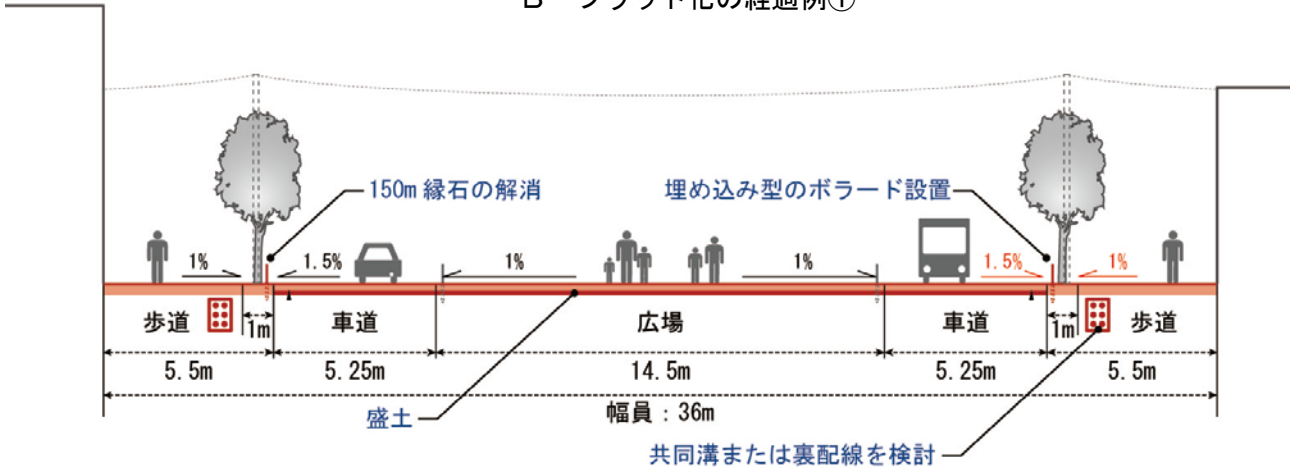
道路および広場は一体的に形成し、両者をフラット化することを最終像とします。

フラット化の実現にあたっては、現行の交通形態では道路構造令に適合しないことから、最終的には交通規制の変更や既存道路の広場化と一体的に実施することとなりますが、現在の歩車道の幅員および交通形態を当面維持する場合、将来的なフラット化を見据えた整備段階のパターンを検討し、段階的に実施する方策を検討していくこととします。

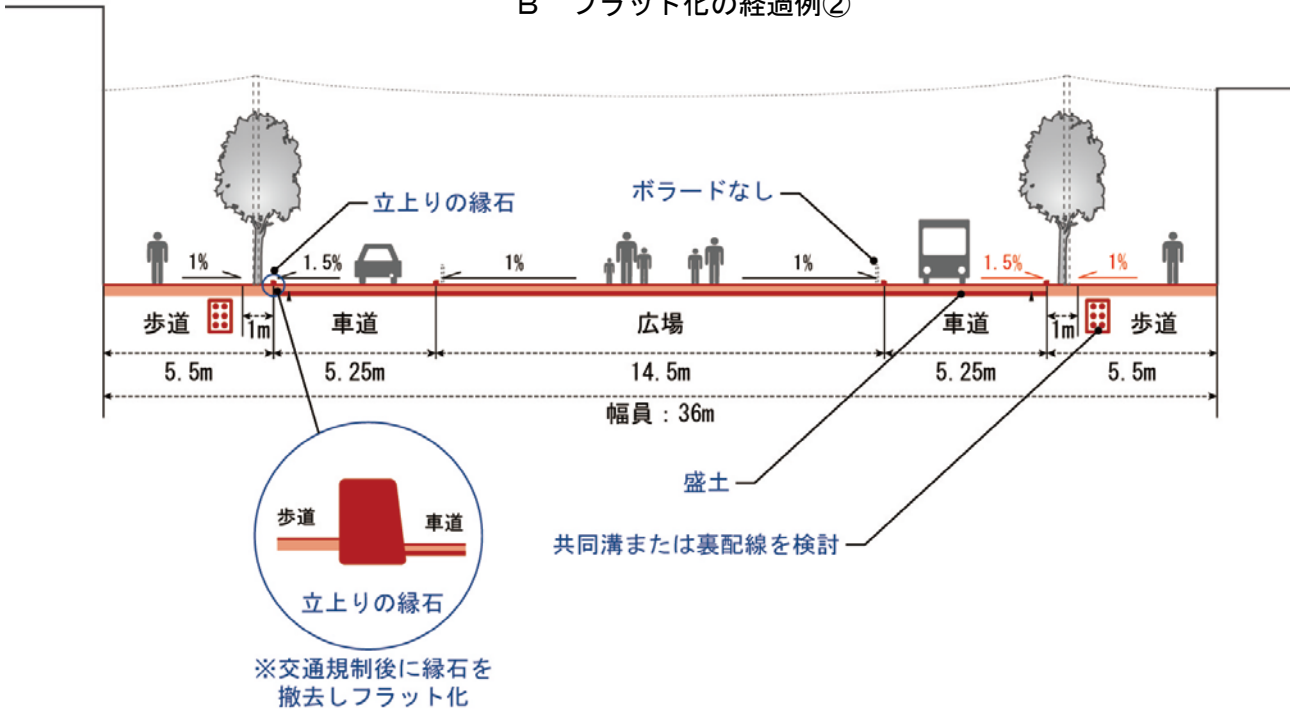
なお、歩道の横断勾配が一部2%となっていますが、有効幅員5.5mの中で2.0m以上の可能な範囲の最大幅で1%勾配となるよう是正します。



B フラット化の経過例①



B フラット化の経過例②



電線地中化の検討についても引き続き推進しますが、はこだてグリーンプラザの整備時期と合わない場合は、将来的な整備を別途検討することとします。

※7章 7-1 今後の課題参照。

(2) 雨水排水計画

本整備基本計画では、大規模な造成を伴わず、また路面仕上げによる雨水流出量は芝生等植栽面積の増大により雨水流出量の低減が見込まれることから、基本的に既存雨水マスおよび側溝への流入とします。なお、車道のレベル変更が将来的に生じる場合、既存雨水マスの継ぎ足し等の対応を行います。

(3) 給水・汚水排水計画

給水は、歩道に埋設された配水管より、フォリー（トイレ等）、水飲み、芝生散水栓等に最寄りのルートにより引き込むものとします。

汚水排水は、排水系統を要するフォリーに汚水排水系統を設け、車道に敷設されている直近の鉄筋コンクリート管に繋ぐものとします。なお、イベント等で生じる汚水処理量や利用位置に考慮します。

(4) 受電および配線計画

歩道上の電柱から地下埋設により、フォリーと一体的に受電施設を設置し、ブロック内の施設および照明施設への系統（必要施設の配置による必要に応じて複数系統）を地下埋設により分配敷設を行います。また、イベント等の電源については、フォリーやベンチステージに屋外コンセントを必要箇所に設置し、盗電対策機器や仮設メーターの導入を図ります。

(5) 照明計画

道路に付帯する照明灯については、配置は現行の設置位置とし、適切な照度を確保します。灯具はLED照明をできるだけ採用し、デザインについては装飾のないシンプルで、フォリーの外壁色（グレー系の無彩色など）との調和を考慮し検討します。

広場においては、別に検討する夜景のデザインと調整し、フォリーと一体的に広場灯を導入するほか、園路沿いを中心にガーデンライトを配置し、必要照度を確保します。灯具はLED照明を採用し、デザインについては装飾のないシンプルでフォリーの外壁色（グレー系の無彩色など）との調和を基調とします。

(6) 既存施設の取り扱い

本整備は、基本的にフルリニューアルの整備であり、主な既存施設は撤去を基本とします。ただし、下記の施設等については、整備区域内で再配置等による存続または区域外への移転を検討します。

①ブロック内の既存樹木

- ・基本的に生育状況を診断し、移植可能なものは整備方針（空間デザイン）に適合する範囲内で活用します。
- ・特にAブロックのサクラ類については、現存または移植による保全を図ります。

②モニュメント等

- ・パブリックアート設置事業等によって設置されたモニュメント等は，区域内の移設を中心に検討するが，それぞれの設置経緯等を考慮し，今後事業の実施までに適切な位置を検討，協議を進めます。

③街路灯・ポラード・可動式ベンチ

- ・本整備基本計画の空間デザインに合致しないものは基本的に撤去しますが，他の公園等やオープンスペースでの再利用が見込まれる場合は，移設等により活用を図ります。

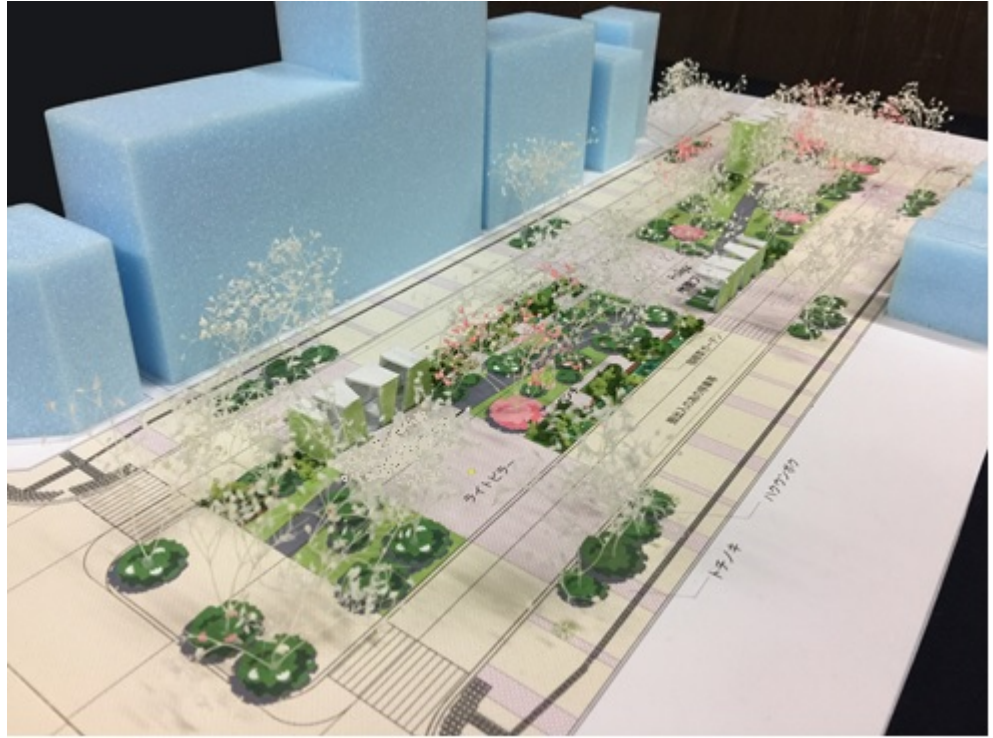
④倉庫備品

- ・基本的に新しいフォリーに収納します。

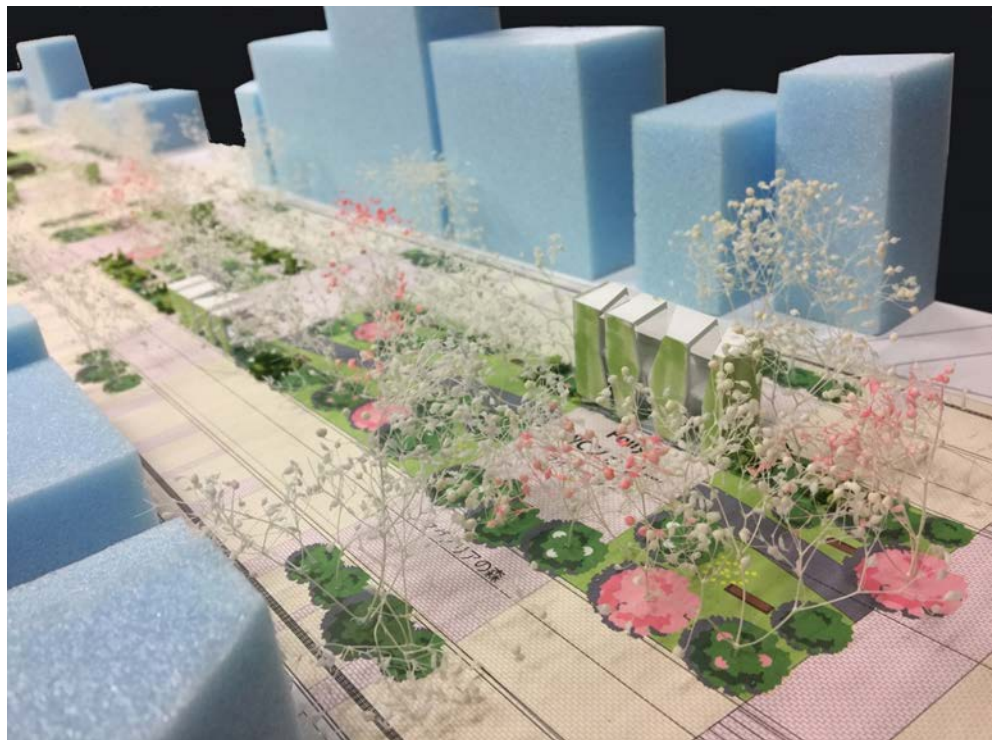
4-6 模型写真およびイメージパース

模型写真およびパースにより、本整備計基本画でイメージする全体像は下記のとおりです。

(1) 模型写真



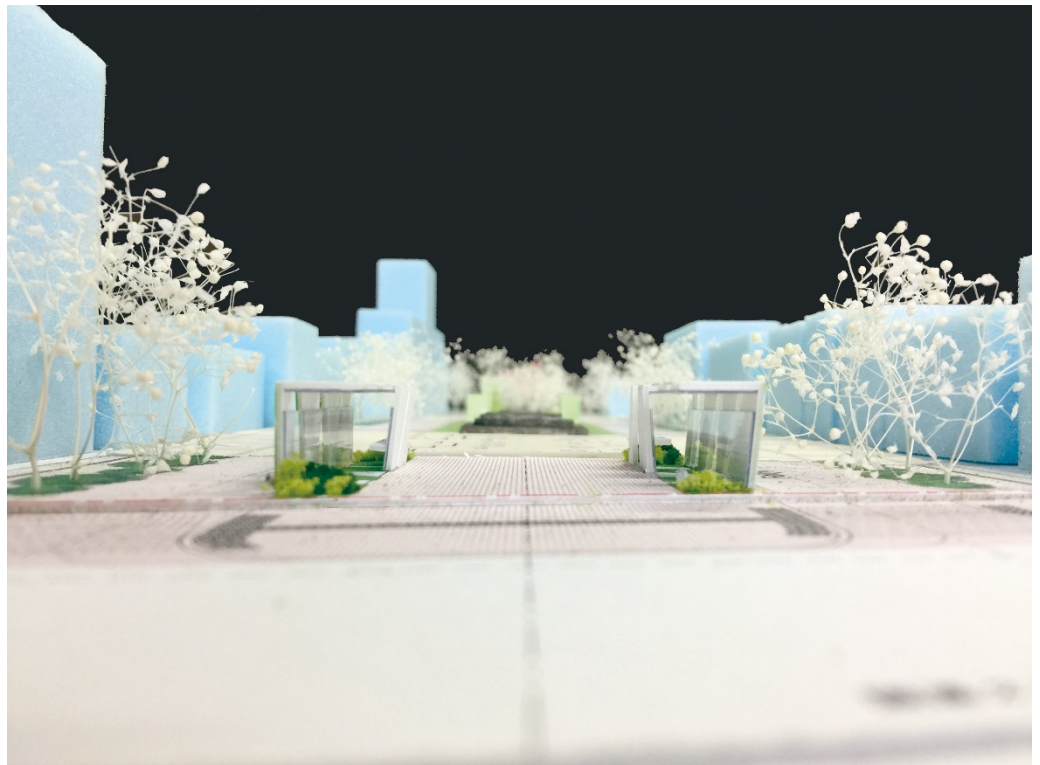
Aブロック Bブロック側からの眺望



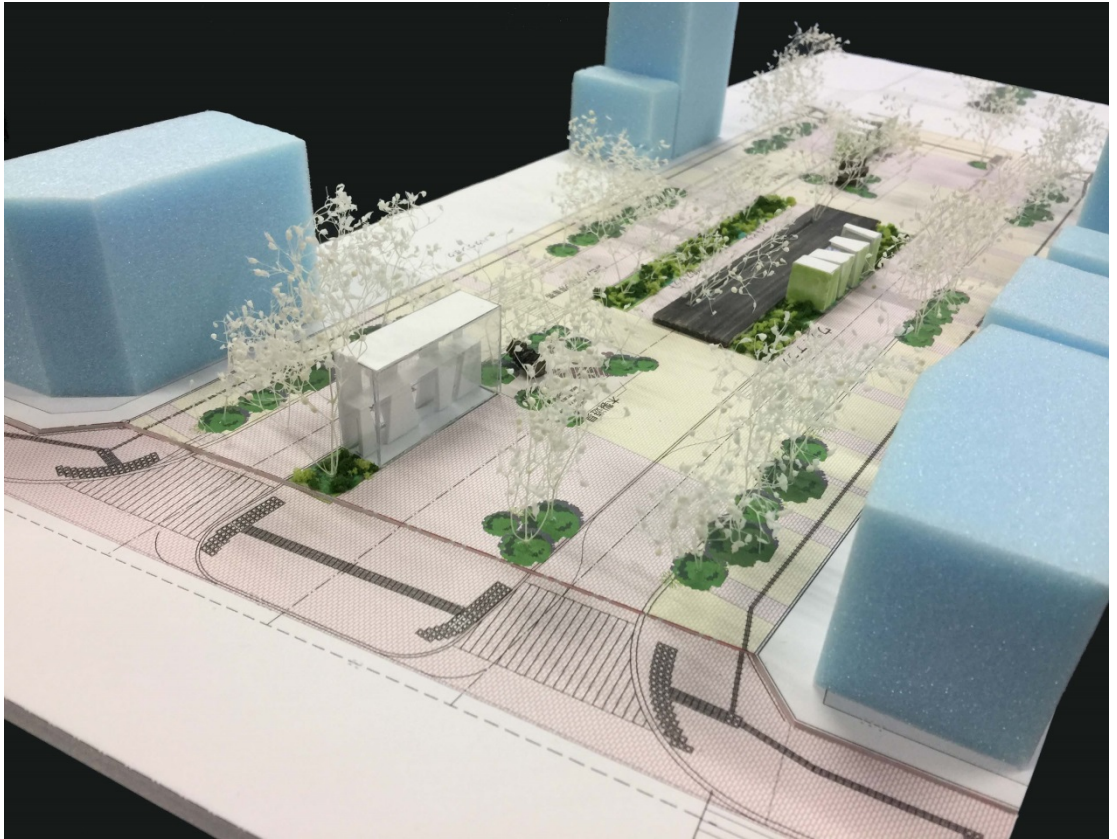
Aブロック 函館中央郵便局側からの眺望



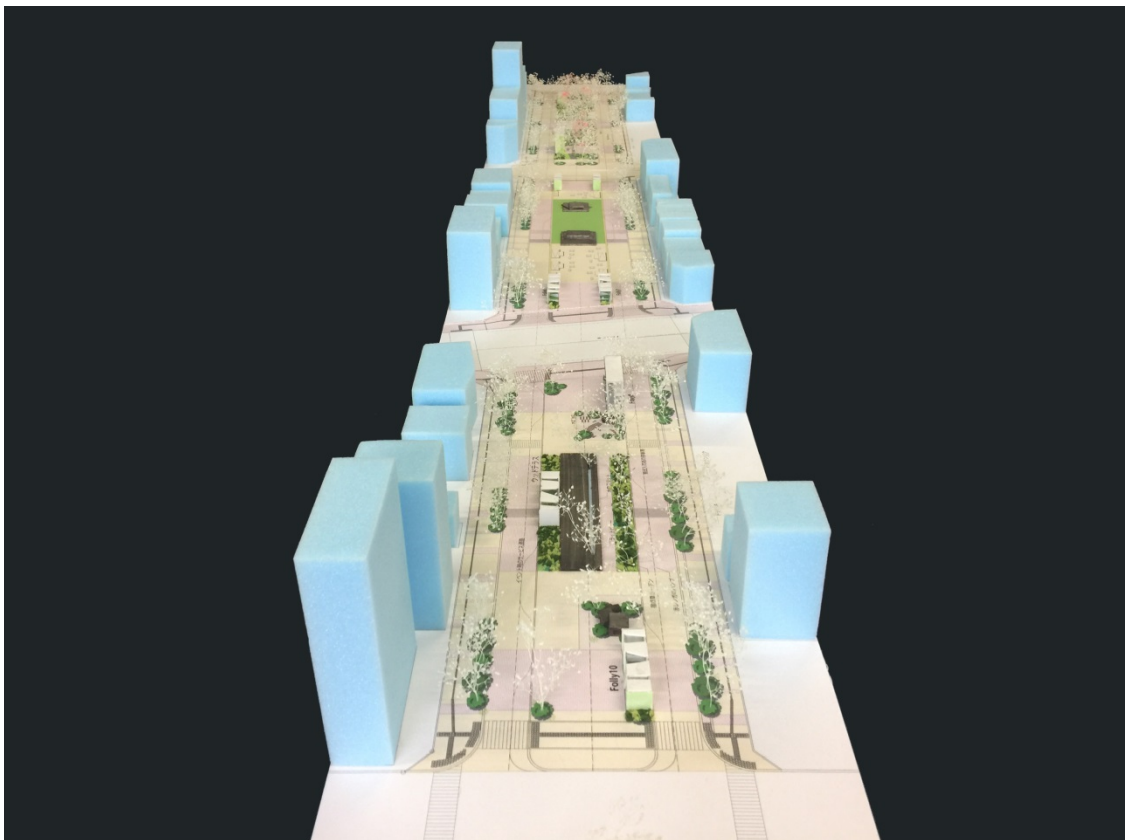
Bブロック 国道側からAブロックへの眺望



Bブロック 国道側からのアイレベル



Cブロック 国道側からの眺望



Cブロック 函館市役所側からの眺望

(2) イメージパース



Aブロックイメージパース



Bブロックイメージパース



Cブロックイメージパース

5. 管理運営計画

5-1 管理運営の考え方と区分

本計画が検討している整備区域は、管理区分としては市道広小路およびはこだてグリーンプラザの2つに区分され、市道広小路については、現行の道路管理に関する法令等に基づき函館市が管理し、はこだてグリーンプラザについては、「はこだてグリーンプラザ条例（昭和48年函館市条例第15号）」に基づき指定管理者による管理が行われています。

5-2 「はこだてグリーンプラザ」の管理運営

「はこだてグリーンプラザ」の指定管理者が行う管理業務については、下記の構成となっています。

- ・グリーンプラザの使用の許可および制限に関すること
- ・グリーンプラザの維持管理に関すること
- ・その他の業務

本整備基本計画については、施設の改編や新たな機能導入が図られていることから、下記の業務が拡充および新たに追加となります。

（1）拡充される業務

- ・緑地およびフラワーバスケットの維持管理に関する業務
フォリーと一体的な緑化施設、芝生広場、宿根草ガーデン、ハンギングバスケット等の新規整備による。
- ・グリーンプラザの利用促進に関する業務
企画立案・企画調整等の推進、特にフォリーの利活用促進による。

（2）追加される業務

- ・フォリー（10棟）の運営・維持管理に関する業務
- ・ライトピラー等夜景装置の運営・維持管理に関する業務
- ・遊具・水路の安全確保・維持管理に関する業務
- ・大きなベンチステージ、ウッドデッキ、水路施設等の維持管理に関する業務

5-3 維持管理費の想定

はこだてグリーンプラザの維持管理費については、平成27年度実績で指定管理者への指定管理料として約8,600千円程度となっています。

本整備計画の整備内容で、現行から新たに発生する主たる施設の維持管理要素は、以下のとおりです。

- ・ 建築施設（10棟のフォリー。トイレ2棟含む）の水道光熱費=1,800千円増
- ・ ライトピラー等の夜景光熱費（LED）=900千円増（通年・6時間運転）
- ・ 水路施設（循環型）の水道光熱費=1,000千円増（5月～10月稼働・18時間運転）
- ・ 宿根草ガーデン・フォリー壁面緑化・芝生管理=500千円増
- ・ その他、遊具安全管理・清掃等=300千円増
- ・ 利用促進に係る事業・人件費=2,000千円増

これらの経費増をおおむね6,500千円増と想定し、約15,000千円規模（約75%増）の年間維持管理費が見込まれることとなります。

6. 概算事業費および整備スケジュール

6-1 概算事業費

概算事業費については、撤去工事を含め総額10億円程度が見込まれます。

■全体整備費概算 (①+②)

【全体】

	A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
①+②	551.1	863.7	86.7	950.4	12,176	78	

①施設整備費概算

■グリーンプラザ全体概算工事費内訳

【全体】

	A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
広場整備	198.5	314.7	31.6	346.3	4,377	79	経費率(平均): 58.5%
道路整備	174.5	284.2	28.5	312.7	7,503	42	経費率(平均): 62.9%
建築整備 (フォルー 10棟)	125.8	173.5	17.4	190.9	296	644	経費率(平均): 37.9%
	498.8	772.4	77.5	849.9	12,176	765	

【Aブロック】

	A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
広場整備	47.1	77.1	7.8	84.9	1,610	53	経費率(平均): 63.7%
道路整備	67.1	108.4	10.9	119.3	3,143	38	経費率(平均): 61.5%
建築整備 (フォルー 3棟)	54.7	74.9	7.5	82.4	123	670	経費率(平均): 36.9%
	168.9	260.4	26.2	286.6	4,877	760	

【Bブロック】

	A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
広場整備	51.9	79.8	8.0	87.8	1,443	61	経費率(平均): 53.8%
道路整備	59.5	96.9	9.7	106.6	2,379	45	経費率(平均): 62.9%
建築整備 (フォルー 4棟)	29.1	38.9	3.9	42.8	80	534	経費率(平均): 33.7%
	140.5	215.6	21.6	237.2	3,901	640	

【Cブロック】

	A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
広場整備	99.5	157.8	15.8	173.6	1,324	131	経費率(平均): 58.6%
道路整備	47.9	78.9	7.9	86.8	1,981	44	経費率(平均): 64.7%
建築整備 (フォルー3棟)	42.0	59.7	6.0	65.7	93	706	経費率(平均): 42.1%
	189.4	296.4	29.7	326.1	3,398	880	

②施設撤去概算

■施設撤去費内訳

【全体】

A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
52.3	91.3	9.2	100.5	12,176	8	経費率(平均): 74.9%

【Aブロック】

A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
16.0	28.0	2.8	30.8	4,877	6	経費率(平均): 75.0%

【Bブロック】

A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
18.0	31.4	3.2	34.6	3,901	9	経費率(平均): 74.4%

【Cブロック】

A 直接工事費 (百万円)	C 本工事費 (百万円)	D 消費税 10% (百万円)	B (C+D) 請負工事費 (百万円)	面積 (㎡)	㎡単価 (千円)	備考
18.3	31.9	3.2	35.1	3,398	10	経費率(平均): 74.3%

6-2 整備スケジュール

本整備基本計画の方針に沿って、次年度以降の整備スケジュールを設定します。

平成29年度

基本設計・測量・関係機関協議・活用に関する社会実験①・沿道合意形成。

- ・基本設計は、広場・道路・建築施設の包括的な設計と一体的な設計調整を行う。
- ・将来的な交通規制を含めた検討をあわせて行う。
- ・無電柱化に向けた検討・協議を行う。

平成30年度

実施設計・関係機関協議・活用に関する社会実験②・整備スケジュールの検討。

維持管理計画および運営体制の見直し。

- ・実施設計は、①広場および道路、②建築施設の2区分に分け、相互調整をしながら進める。
- ・交通規制の実施に向けた合意形成を進める。
- ・無電柱化の具体化方策を検討する。
- ・既存イベントの継続性（暫定整備等）。
- ・工事に伴う交通規制について不便低減・安全性の確保。
- ・整備費の年次的な平準化。

平成31年度～33年度

整備工事（ブロック毎に3年程度）

- ・整備スケジュールに基づいた工事を行う。

<整備スケジュール>

	平成29年度	平成30年度	平成31年度～33年度
基本設計	→ 社会実験①		
実施設計		→ 社会実験②	
整備工事			→

7. 今後に向けて

7-1 今後の課題

基本・実施設計および整備後の管理運営に向けて必要となる調整、検討および協議事項について取りまとめています。

7-1-1 基本・実施設計に関すること

(1) 既存施設の保全・移設の調整

【既存樹木】

既存樹木の保全また移植に当たっては、樹木診断等を行い適切な判断を行います。

【モニユメント等】

整備区域内で空間デザインとの調和を図りつつ検討します。整備区域外での移転を検討する場合は、寄贈者の理解、移転先の施設管理者との調整に配慮します。

(2) 道路と広場のフラット化の検討

道路と広場のフラット化は、歩行者の安全確保を前提とするため、最終的には道路と広場の一体的な利用を念頭に、交通規制も含めて検討を進めます。通行の規制の検討に当たっては、周辺交通への負荷が発生するため、交通計画上の検証も合わせて行うことが必要となります。

検討に当たっては、警察との協議を実施し、国道交差点については国道管理者との調整を行うとともに、沿道住民の合意形成を得ていく必要があります。

ただし、広場の整備スケジュールと交通規制等の実施見通しが整わない場合は、将来的にフラット化とすることを想定し、大規模な改修が伴わずに可能となるよう段階的に整備することも留意しながら検討します。

(3) 無電柱化の検討

現在、函館駅前通における再整備では共同溝による無電柱化が進められています。現状において、はこだてグリーンプラザをまたぐ電線類については、電車道路（国道278号）に近い部分の2本のみとなっており、景観上大きな支障になっているとは言い難いが、ガーデンシティ構想を構成する重要な事業であり、無電柱化による景観形成を図って行くことが望ましいと考えます。

ただし、無電柱化は函館市単独による整備では、事業負担が大きいいため、費用負担の小さい「電線共同溝の整備等に関する特別措置法（平成7年法律第39号）」に基づく電線共同溝方式により道路管理者および電線管理者等の費用負担での実施を念頭に、無電柱化協議会等での選定に基づく整備推進を検討していくこととします。

(4) 誰もが来たくなる演出効果

ハード整備にあたって、はこだてグリーンプラザに人を惹きつける仕掛けを常に考えながら整備する必要があります。どのような仕掛けにより演出効果を高めるかといったことを検討しながら基本設計を進めます。

(5) その他必要な事項

基本・実施設計にあたり必要な事項については、国道管理者（国）、警察、北電、NTT等の関係機関との協議および調整を図るとともに、庁内における協議および調整を図っていくこととします。

7-1-2 整備後の管理運営に関すること

(1) 賑わいづくりの推進・企画運営の検討

はこだてグリーンプラザの賑わいづくりについては、メニューづくりや運営方策の検討を基本・実施設計と合わせて調整しながら行っていく必要があります。必要に応じて、積極的な社会実験などの試行を検討します。

(2) 管理運営手法等の検討

管理運営手法等については、基本・実施設計と合わせて調整しながら、維持管理とともに企画運営にかかる検討を進めていく必要があります。特に市民参加や民間事業者の参入など、賑わいづくりのパートナーシップを確立していくほか、収益的なプログラムを導入していくことを積極的に検討していく必要があります。

グリーンプラザが、函館のまちづくりの発信基地となっていける場として、様々なソフト事業を検討していきます。